

# 景況などに関する会員アンケート

## 調査結果

平成 28 年 12 月

北陸経済連合会

# 目次

<b>1. アンケート調査実施概要</b> . . . . .	1
<b>2. アンケート調査結果概要</b> . . . . .	2
総括 . . . . .	2
I. 景気動向 . . . . .	3
II. 業績 . . . . .	5
III. その他（北陸新幹線の金沢開業） . . . . .	7
（女性の活躍推進） . . . . .	9
<b>参考（アンケート調査結果）</b> . . . . .	10
I. 景気動向 . . . . .	10
II. 業績 . . . . .	13
III. その他（北陸新幹線の金沢開業） . . . . .	16
（女性の活躍推進） . . . . .	21

# 1. アンケート調査実施概要

## ○実施概要

北陸の景気動向や業況その他について、会員の意見、要望を迅速かつ的確に把握し、各方面への要望活動に活かすため、北陸地域の景況などに関するアンケート調査を実施した。[今回で36回目]

以下、その結果を報告する。

## ○調査時期

平成28年10月17日～10月31日

## ○調査対象

北陸経済連合会会員企業

## ○回収率

回答率58.2%（送付企業304社、回収数177社）

## ○調査企業概要

本社の所在地	回収数	割合
富山県	59	33.3%
石川県	66	37.3%
福井県	17	9.6%
北陸三県以外	35	19.8%
計	177	100.0%

資本金	回収数	割合
1億円未満	67	37.9%
1億円～10億円未満	44	24.9%
10億円以上	66	37.3%
計	177	100.0%

調査結果の取りまとめにおいては、規模別を以下の基準で分類することとする。

### 【規模別】

大企業：資本金10億円以上  
 中堅企業：資本金1億円以上10億円未満  
 中小企業：資本金1億円未満

	業種	回収数	割合
製 造 業	食料品製造業	5	2.8%
	繊維工業	5	2.8%
	木材・紙・パルプ製造業	0	0.0%
	出版・印刷・同関連業	3	1.7%
	化学工業	2	1.1%
	鉄鋼業・非鉄金属製造業	6	3.4%
	金属製品製造業	9	5.1%
	機械工業	11	6.2%
	その他製造業	16	9.0%
		小計	57
非 製 造 業	卸売業	18	10.2%
	小売業	3	1.7%
	建設業	35	19.8%
	電気・ガス・水道業	3	1.7%
	運輸業	10	5.6%
	農・林・漁業	0	0.0%
	鉱業	0	0.0%
	金融業・保険業	11	6.2%
	不動産	2	1.1%
	サービス業	23	13.0%
	その他の非製造業	15	8.5%
	小計	120	67.8%
	計	177	100.0%

## 2. アンケート調査結果概要

### [ 総 括 ]

#### 北陸の景気動向 ……前回調査との比較では悪化を示す企業が増加しているが、 今後は、緩やかな回復を見込む企業が増加

- ・ 28年度上期の景気基調については、「すでに回復」「回復基調」とみる企業が45.2%で、前回調査(52.7%)を下回り、「底這い」「下降」と見る企業45.7%とほぼ同水準である。
- ・ 景気判断BSI(「良くなった」と答えた割合から「悪くなった」を引いた値)について、28年度上期の景気は▲4.0となり、前回調査の現状(27年度下期)判断の12.0から悪化している。業種別にみると、製造業が▲7.0(前回12.1)、非製造業が▲2.5(前回11.9)と、どちらも悪化した。また、来期(28年度下期)の見通しについては0.0(今期▲4.0)と、改善を見込む企業が増加している。
- ・ なお、現在の景気が「底這い」「下降」とした企業のうち、約半数(51.8%)の企業が29年度中に回復に転じるとみている。

#### 業績

#### ……前回調査との比較では悪化を示す企業が増加しているが、 来期は、改善を見込む企業が増加

- ・ 現在の業績水準については、「大変良い」「良い」とみている企業が33.9%(前回調査29.3%)と、「悪い」「大変悪い」とみている企業を上回った。
- ・ 28年度上期の業績について、業績判断BSI(「改善」と答えた割合から「悪化」を引いた値)でみると、今期は▲9.5と、前回調査(▲0.6)からマイナスとなっている。また、規模別では、大企業が▲1.5(前回▲7.5)、中堅企業が▲27.4(前回▲2.6)、中小企業が▲5.9(前回8.1)となり、特に中堅・中小企業において、業績が悪化したとする企業が増加している。また、来期(28年度下期)の見通しについては10.7と、改善を見込む企業が増加している。
- ・ 経営上の課題としては、「人材養成・確保」(72.3%)が最も多く、次いで「国内販売力の強化」(56.5%)となっている。

#### その他

##### 1. 北陸新幹線の金沢開業による影響について

- ・ 北陸新幹線の金沢開業による北陸経済への影響としては、「観光客の増加」「交流人口の増加」の2点を多くの企業が挙げている。
- ・ 自社の商圏の変化については、全産業で32.7%の企業が「ある」「多少はある」と回答した。業種別では非製造業においては約4割(39.2%)となっており、非製造業への影響が特に大きいことがうかがえる。
- ・ 北陸の経済界として取り組むべき内容としては、「更なるインフラ整備」(62.1%)「観光客の満足度向上、リピーター獲得」(53.7%)を挙げる企業が多く見られ、次いで「北陸三県との広域連携」「企業誘致に向けたPRの拡大」が続く結果となった。

##### 2. 女性の活躍推進について

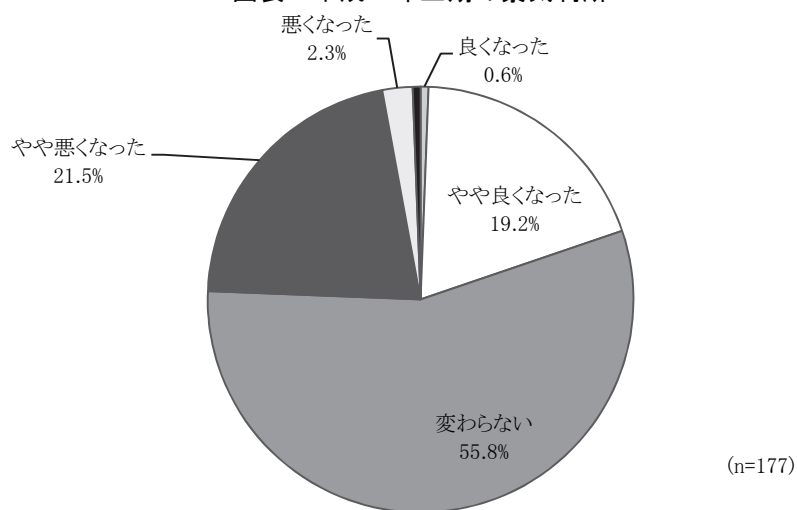
- ・ 女性の従業員比率については、「10%以上30%未満」と答えた企業が50.3%と過半数を占め、次いで「10%未満」が20.9%という結果で、7割を超える企業が女性従業員比率30%未満であった。
- ・ 女性の採用計画については、全産業で44.1%の企業が「増員予定」と回答している。
- ・ 女性管理職の登用状況については、「10%未満」と回答した企業が最も多く、次いで「0%」「10%以上20%未満」が続く結果となり、30%以上と回答した企業は4社のみであった。

## I. 景気動向

### 前回調査と比べ減速を示す結果となったが 今後は、緩やかな回復を見込む企業が増加

- ・ 28年度上期の景気動向については、前期（27年度下期）と比べて「良くなった」「やや良くなった」と答えた企業が19.8%で、「やや悪くなった」「悪くなった」の23.8%を下回っている。また、景気は変わらないとみている企業が半数以上を占めている。（図表1）
- ・ 景気判断BSI（図表2、※）について、28年度上期の景気は▲4.0となり、前回調査の現状（27年度下期）判断の12.0から悪化している。業種別にみると、製造業が▲7.0（前回12.1）、非製造業が▲2.5（前回11.9）と、どちらも悪化した。また、来期（28年度下期）の見通しについては0.0（今期▲4.0）と、改善を見込む企業が増加している。（図表2）
- ・ 28年度上期の景気基調については、「すでに回復」「回復基調」とみる企業が45.2%で、前回調査（52.7%）を下回り、「底這い」「下降」と見る企業45.7%とほぼ同水準である。（図表3）
- ・ 28年度上期の景気が「すでに回復」「回復基調」とした企業について、回復した理由を尋ねたところ、「企業収益の回復」が40.0%と最も多く、「設備投資の回復」と「公共投資の効果」が33.8%で続いている。（図表4）
- ・ 一方、「底這い」「下降」とした企業に対し、今後回復に転じると予想される時期について尋ねたところ、28年度下期が6.2%、H29年度上期が33.3%、29年度下期が18.5%、H30上期以降とみる企業が24.7%となっている。（図表5）

図表1. 平成28年上期の景気判断



図表2. 平成28年上期の景気判断と見通し

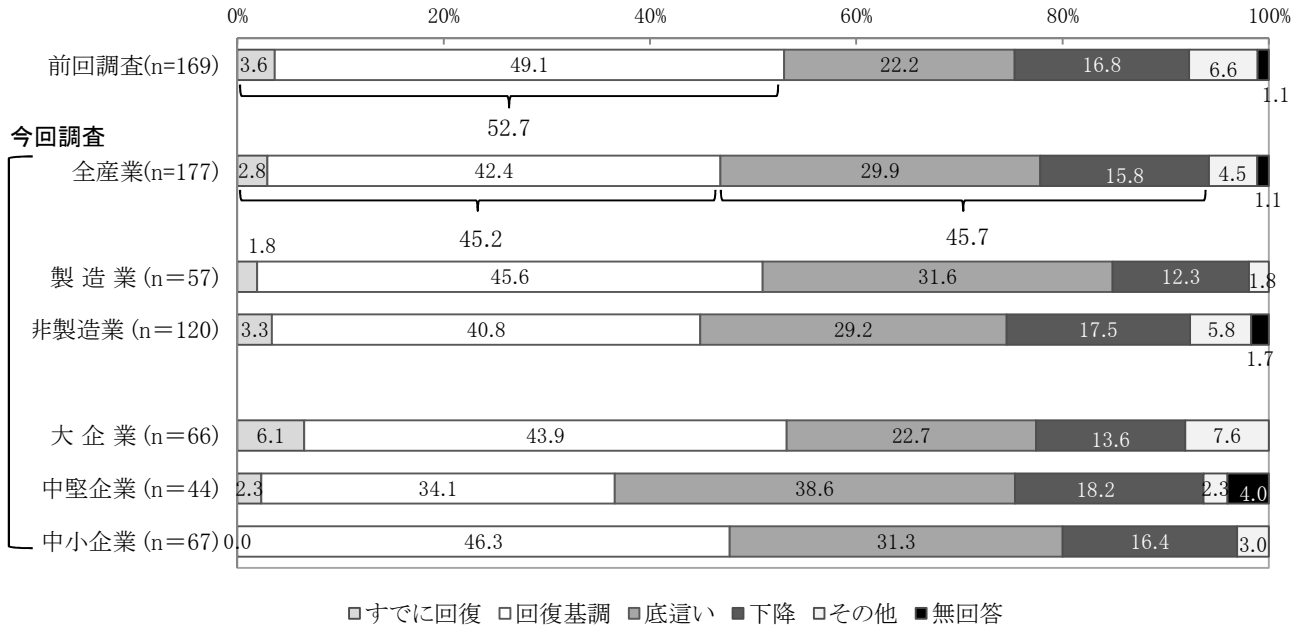
#### ※景気判断BSI

（「良くなった」「やや良くなった」） - （「悪くなった」「やや悪くなった」）社数構成比 単位：%ポイント

		前回調査	今回調査			
		27年10～3月(前期)	28年4～9月(今期)		28年10～3月(見通し)	
		景気判断BSI	景気判断BSI	変化幅	景気判断BSI	変化幅
全産業		12.0	▲ 4.0	▲ 16.0	0.0	4.0
業種	製造業	12.1	▲ 7.0	▲ 19.1	▲ 5.3	1.7
	非製造業	11.9	▲ 2.5	▲ 14.4	2.5	5.0
規模	大企業	18.0	9.1	▲ 8.9	7.6	▲ 1.5
	中堅企業	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 11.3	13.7
	中小企業	12.9	▲ 3.0	▲ 15.9	0.0	3.0

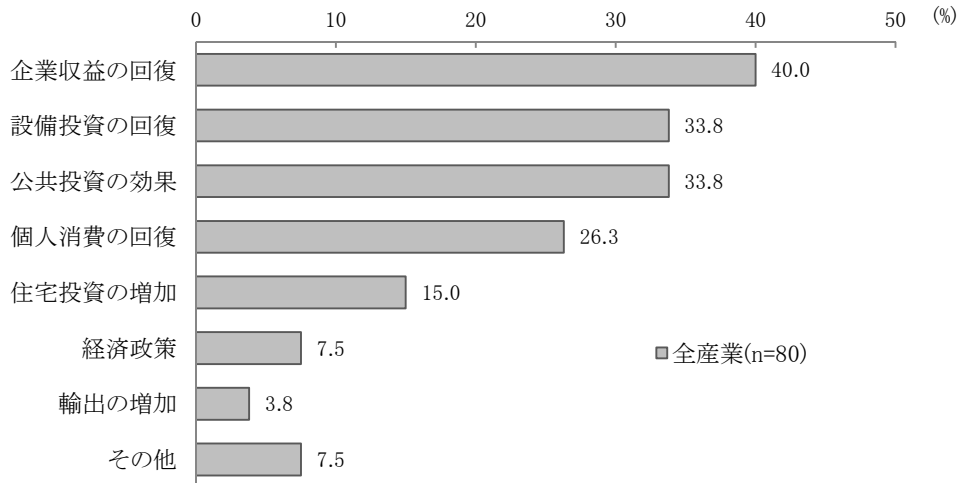
注) 28年4～9月(今期)の変化幅は27年10～3月(前期)との対比、28年10～3月(見通し)の変化幅は28年4～9月(今期)との対比。

図表3. 平成28年度上期の景気基調



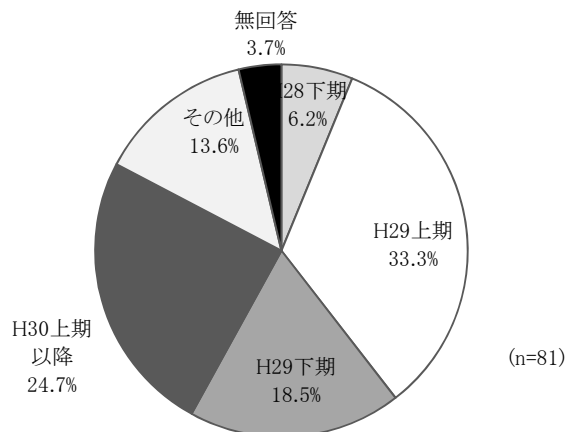
図表4. 平成28年度上期の景気が良い理由（複数回答）

景気が「すでに回復」「回復基調」と回答された企業



図表5. 北陸地域の景気が回復に転じる時期

景気が「底這い」「下降」と回答された企業



## Ⅱ. 業績

足もとでは前回調査と比べ悪化しているが、来期は改善を見込む企業が増加

- ・ 28年度上期の業績について、業績判断BSI（図表6 ※）で、▲9.5となり、前回調査（27年度下期）の▲0.6から悪化している。
- ・ 業種別でみると、製造業が▲17.5（前回1.7）、非製造業が▲5.9（前回▲1.8）と、どちらも悪化している。  
規模別では、大企業が▲1.5（前回▲7.5）、中堅企業が▲27.4（前回▲2.6）、中小企業が▲5.9（前回8.1）となり、中堅・中小企業で、業績が悪化したとする企業が増加している。（図表6）
- ・ 来期（28年度下期）の見通しについては10.7と、改善を見込む企業が増加している。業種別でみると、製造業、非製造業ともに今期からの改善を見込んでいる。また、規模別でも、大企業は7.5(今期▲1.5)、中堅企業は2.4(今期▲27.4)、中小企業は19.4(今期▲5.9)と改善を見込んでいる。（図表6）
- ・ 現在の業績水準については、「大変良い」「良い」とみている企業が33.9%(前回29.3%)、「悪い」「大変悪い」とみている企業が16.9%(前回24.6%)となっている。（図表7）
- ・ 経営上の課題では、「人材養成・確保」（72.3%）が最も多く、次いで「国内販売力の強化」（56.5%）となり、「新分野への進出」（40.1%）、「新商品の開発」（24.9%）がこれに続いている。（図表8）

図表6. 平成28年度上期の業績判断と見通し

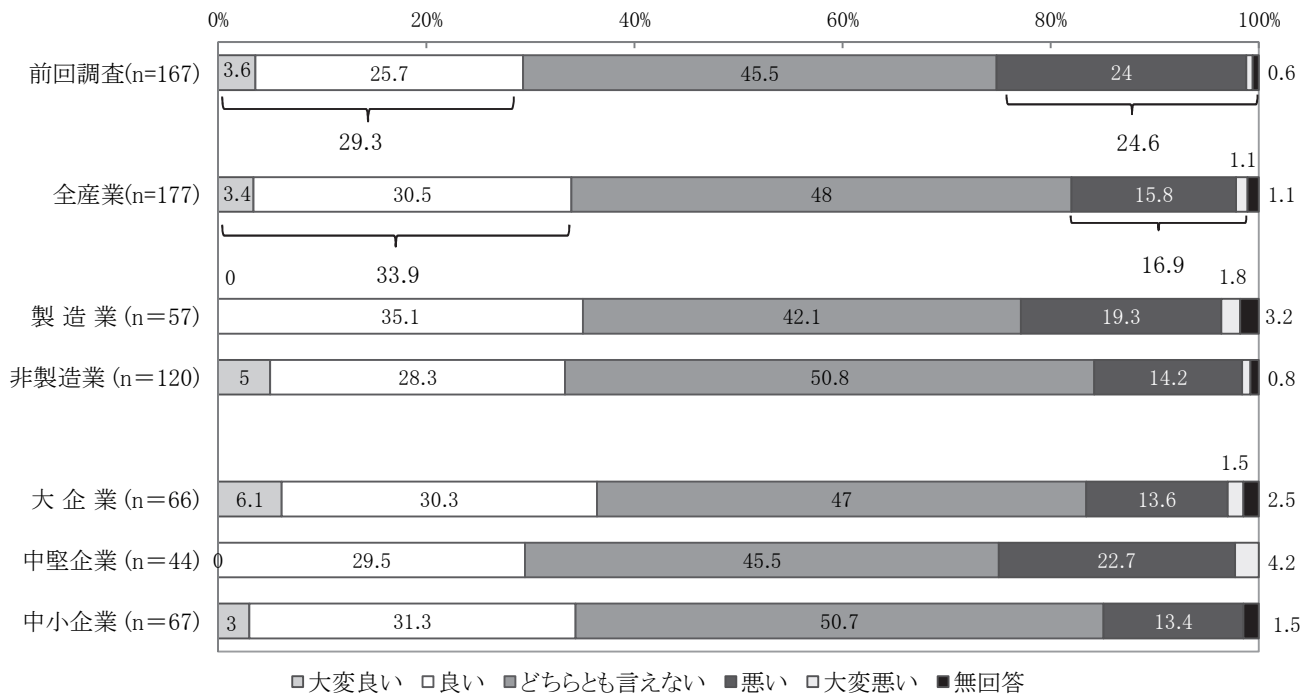
※業績判断BSI

（「改善」「やや改善」） - （「悪化」「やや悪化」）社数構成比 単位：%ポイント

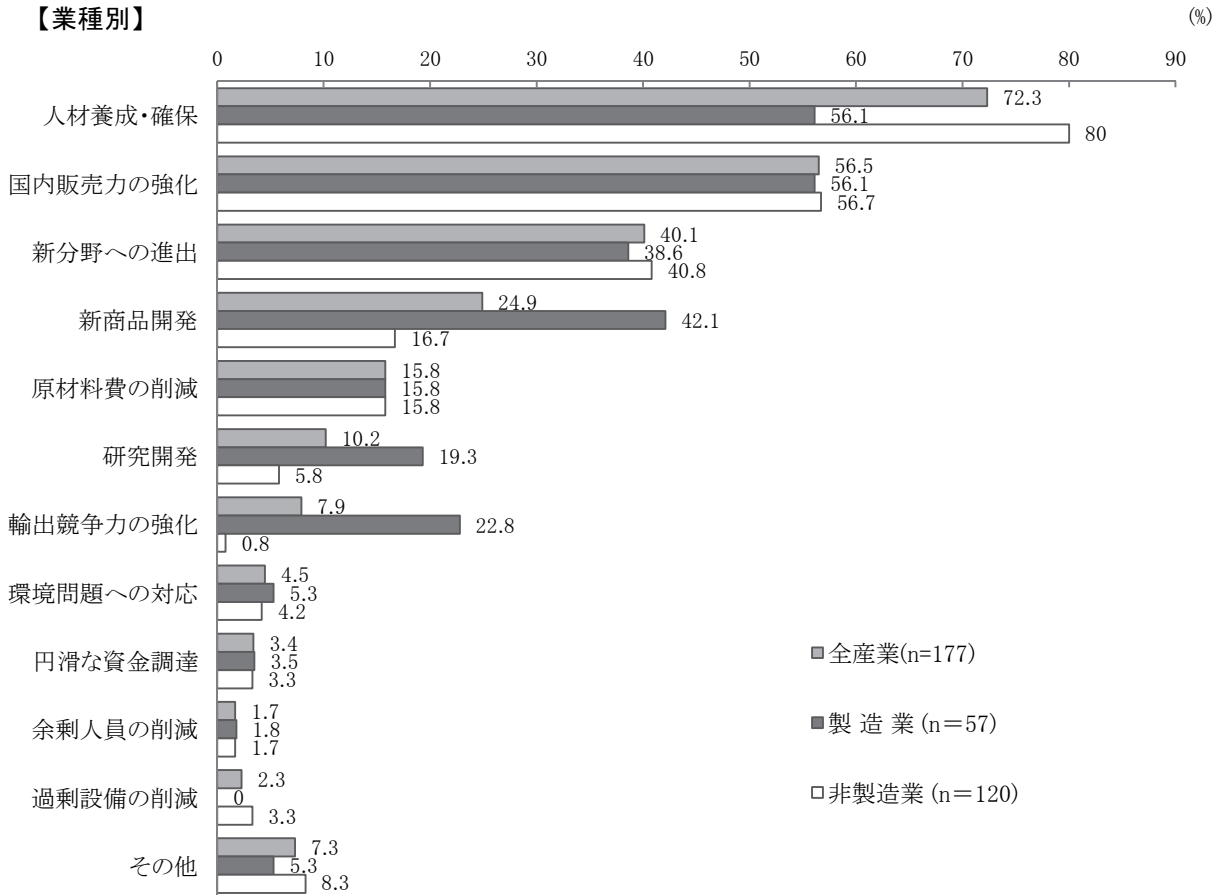
		前回調査		今回調査		
		27年10～3月(前期)		28年4～9月(今期)		28年10～3月(見通し)
		業績判断BSI	業績判断BSI	変化幅	業績判断BSI	変化幅
全産業		▲ 0.6	▲ 9.5	▲ 8.9	10.7	20.2
業種	製造業	1.7	▲ 17.5	▲ 19.2	19.3	36.8
	非製造業	▲ 1.8	▲ 5.9	▲ 4.1	6.7	12.6
規模	大企業	▲ 7.5	▲ 1.5	6.0	7.5	9.0
	中堅企業	▲ 2.6	▲ 27.4	▲ 24.8	2.4	29.8
	中小企業	8.1	▲ 5.9	▲ 14.0	19.4	25.3

注) 28年4～9月(今期)の変化幅は27年10～3月(前期)との対比、28年10～3月(見通し)の変化幅は28年4～9月(今期)との対比。

図表7. 現在の業績水準



図表8. 経営上の課題 (3つまで回答)



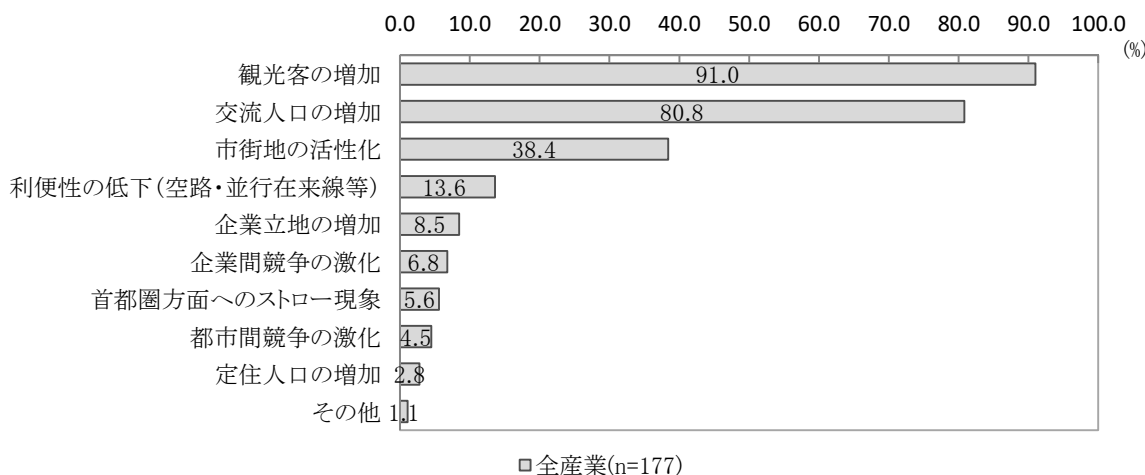


### Ⅲ. その他

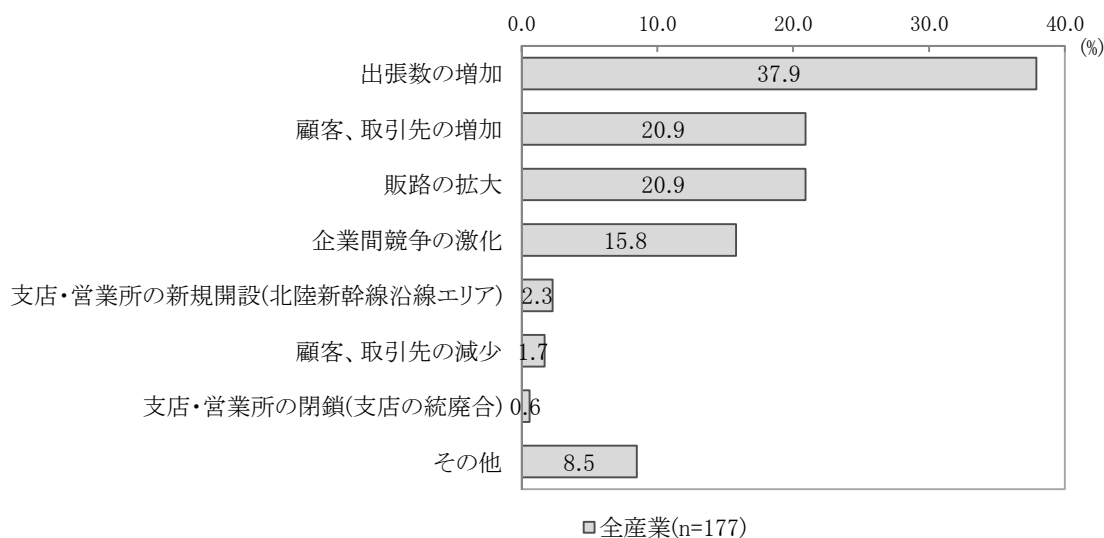
#### 1. 北陸新幹線の金沢開業による影響について

- ・北陸経済への影響としては、「観光客の増加」「交流人口の増加」の2点を多くの企業が挙げている。(図表9)
- ・自社への影響としては、「出張数の増加」と答えた企業が37.9%と最も多く、次いで「顧客、取引先の増加」「販路の拡大」「企業間競争の激化」が続く結果となった。(図表10)
- ・自社の商圈の変化については、全産業で32.7%が「ある」「多少はある」と回答した。業種別では製造業においては19.3%が「ある」「多少はある」と回答したのに対し、非製造業においては約4割(39.2%)となっており、非製造業への影響が特に大きかったことがうかがえる。(図表11)
- ・自社の売上げの変化についても、非製造業においては32.5%が「かなり伸びた」「多少伸びた」と回答している。(図表12)
- ・北陸の経済界として取り組むべき内容としては、「更なるインフラ整備」(62.1%)「観光客の満足度向上、リピーター獲得」(53.7%)を挙げる企業が多く見られ、次いで「北陸三県との広域連携」「企業誘致に向けたPRの拡大」が続く結果となった。北陸新幹線敦賀延伸をはじめとする広域交通ネットワークの整備促進や、北陸の魅力・満足度向上に向けた取り組みや、北陸三県が一体となった広域観光の推進が必要と考えられる。(図表13)

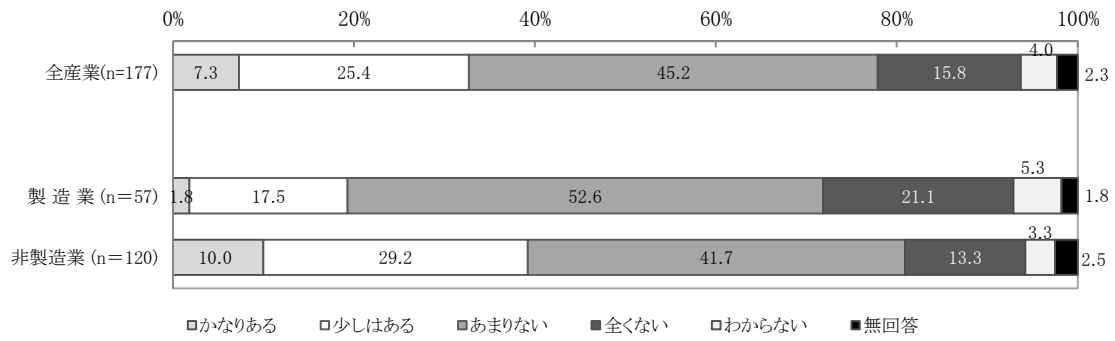
図表9. 北陸地域の経済への影響



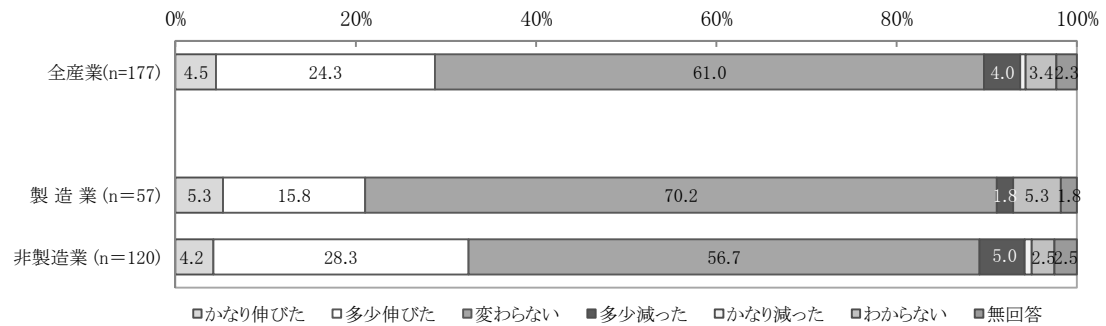
図表10. 自社への影響



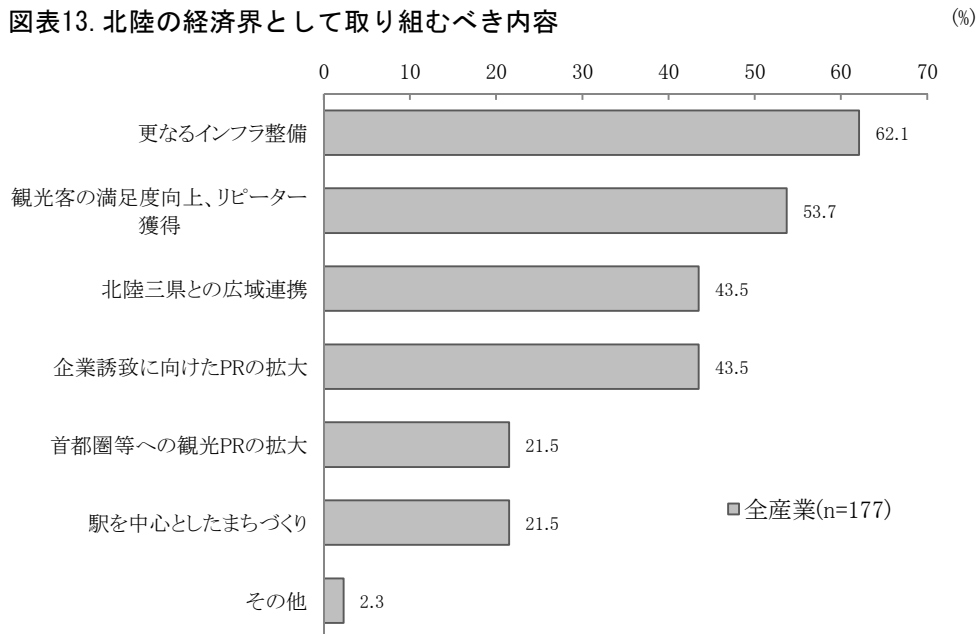
図表11. 商圈等の影響



図表12. 売上げの変化



図表13. 北陸の経済界として取り組むべき内容

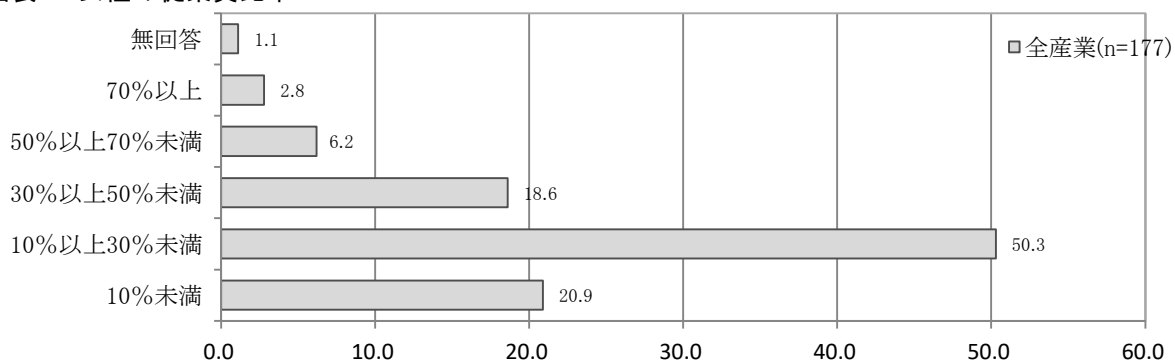


### Ⅲ. その他

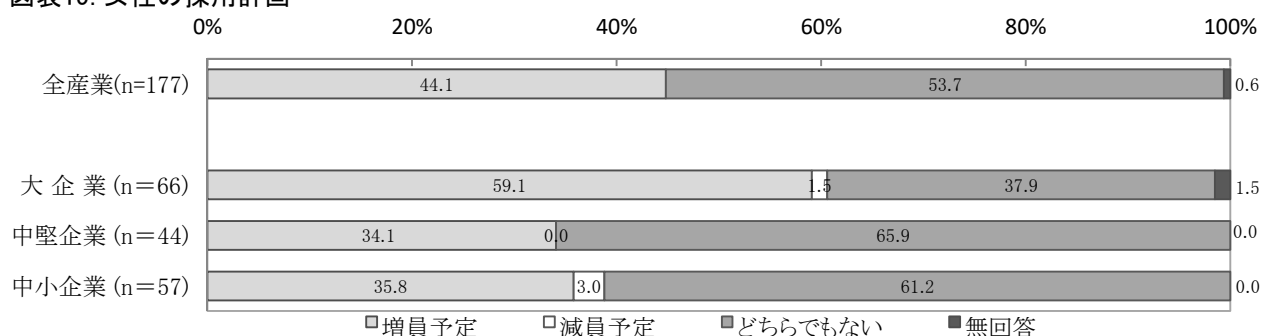
#### 2. 女性の活躍推進について

- ・女性の従業員比率については、「10%以上30%未満」と答えた企業が50.3%と過半数を占め、次いで「10%未満」が20.9%という結果で、7割を超える企業が女性従業員比率30%未満であった。(図表14)
- ・女性の採用計画については、全産業でも44.1%の企業が「増員予定」と回答し、大企業では約6割(59.1%)の企業が「増員予定」と回答しており、特に大企業の積極的な女性採用計画がうかがえる。(図表15)
- ・増員予定の理由としては、約7割の企業が「多様な人材を確保するため」「優秀な人材を確保するため」と回答している。
- ・女性管理職の登用状況については、「10%未満」と回答した企業が最も多く、次いで「0%」「10%以上20%未満」が続く結果となり、30%以上と回答した企業は4社のみであった。(図表16)

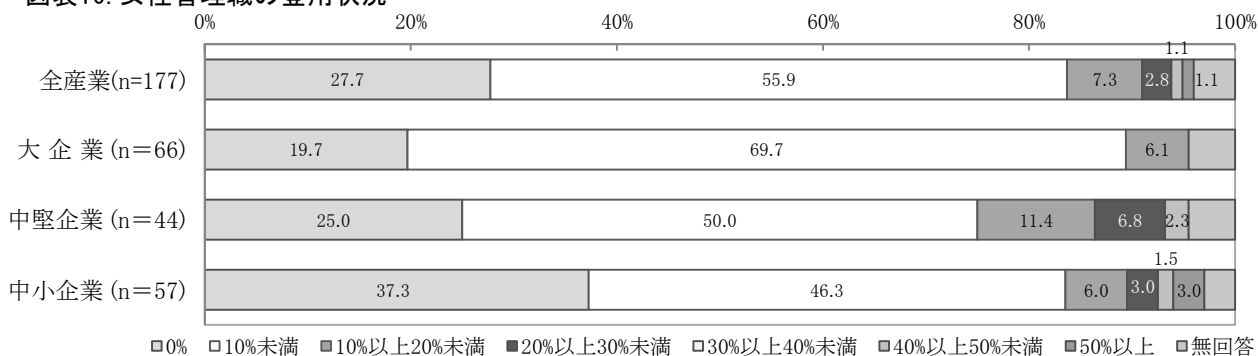
図表14. 女性の従業員比率



図表15. 女性の採用計画



図表16. 女性管理職の登用状況

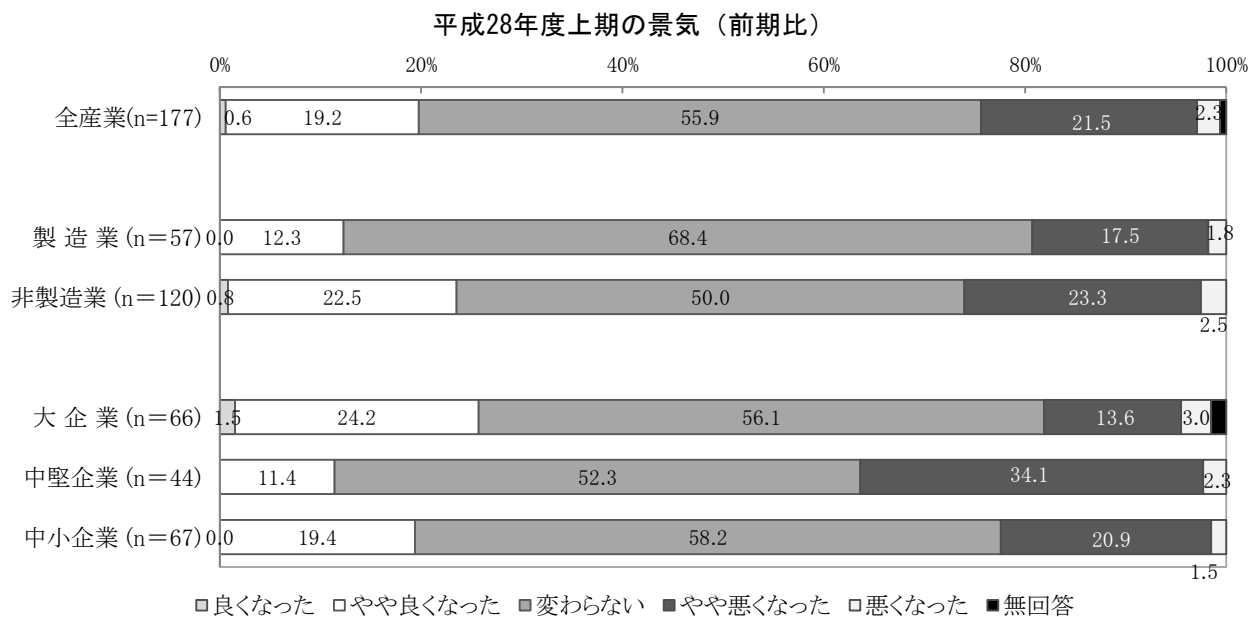


## 参考(アンケート調査結果)

### I 景気動向

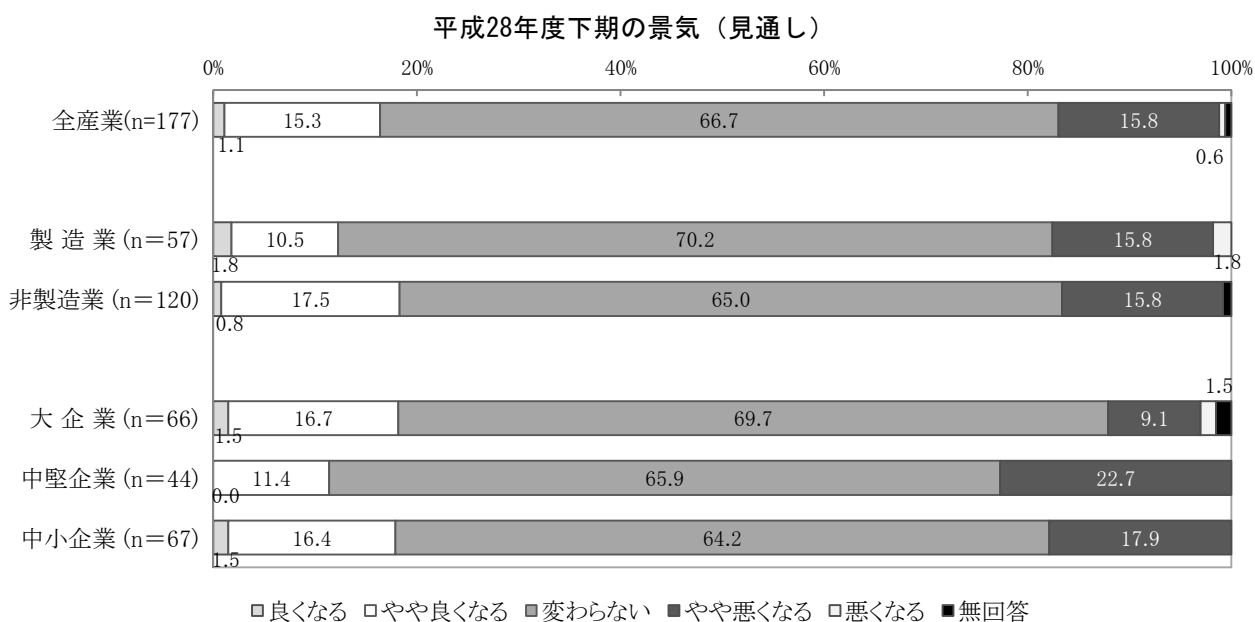
#### Q.1

北陸地域の平成28年度上期(4月～9月)の景気は平成27年度下期(10月～3月)に比べどのように変化したと思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



#### Q.2

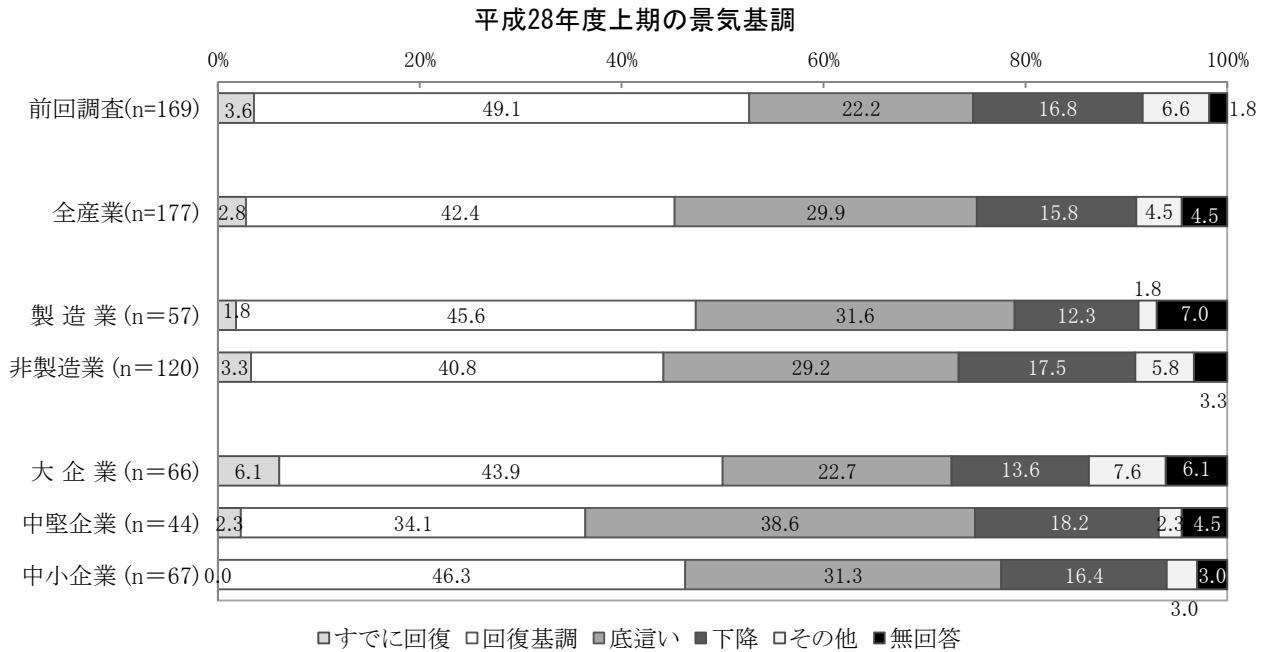
北陸地域の平成28年度上期(4月～9月)の景気は平成27年度下期(10月～3月)に比べどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



# I 景気動向

## Q.3

平成28年度上期(4月～9月)の北陸地域の景気は基調として以下のどの局面にあると判断されていますか。



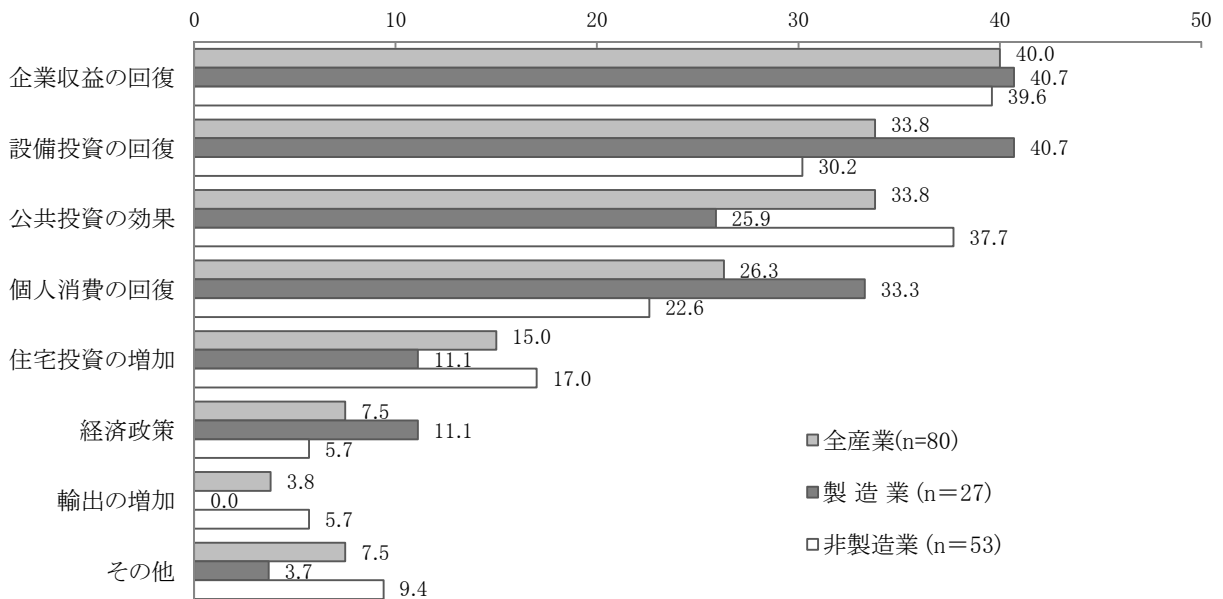
## Q.4

Q.3で「すでに回復」「回復基調」と回答された方へ  
 平成28年度上期(4月～9月)の景気が良いのは何によるものだと思いますか。(複数回答可)

平成28年度上期の景気が良い理由(複数回答)

(%)

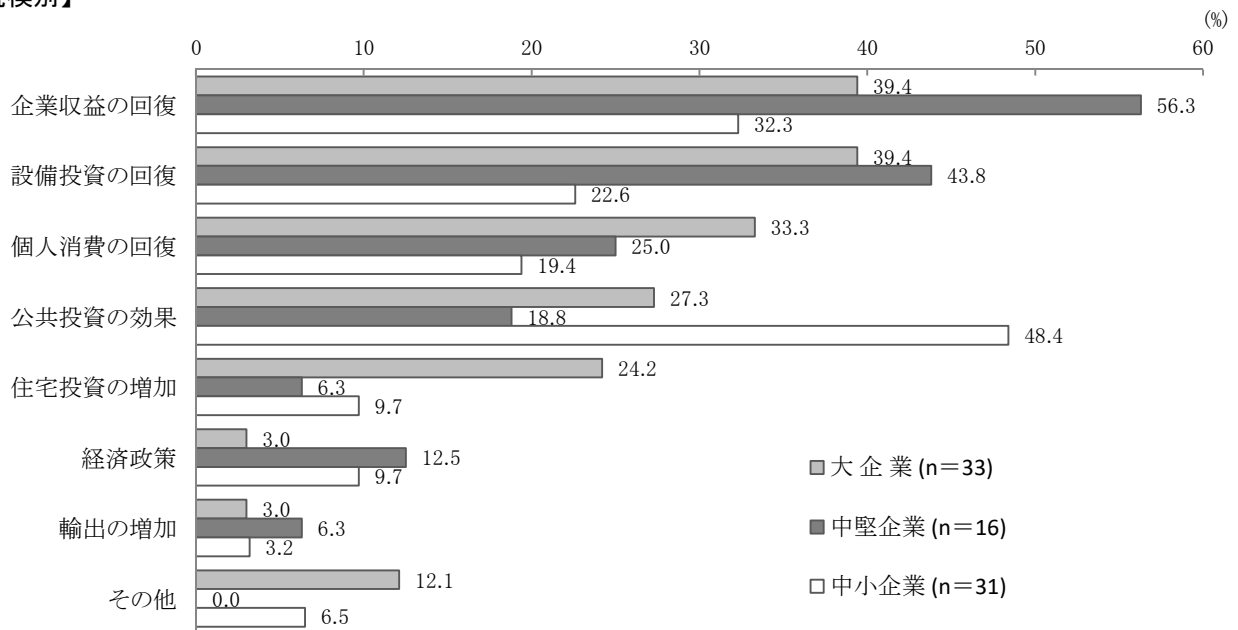
### 【業種別】



# I 景気動向

## 平成28年度上期の景気が良い理由（複数回答）

【規模別】



◎経済政策の具体的な回答

- ・北陸新幹線
- ・観光需要の増加
- ・アベノミクス
- ・ものづくり補助金等
- ・補正予算の実施

◎その他の具体的な回答

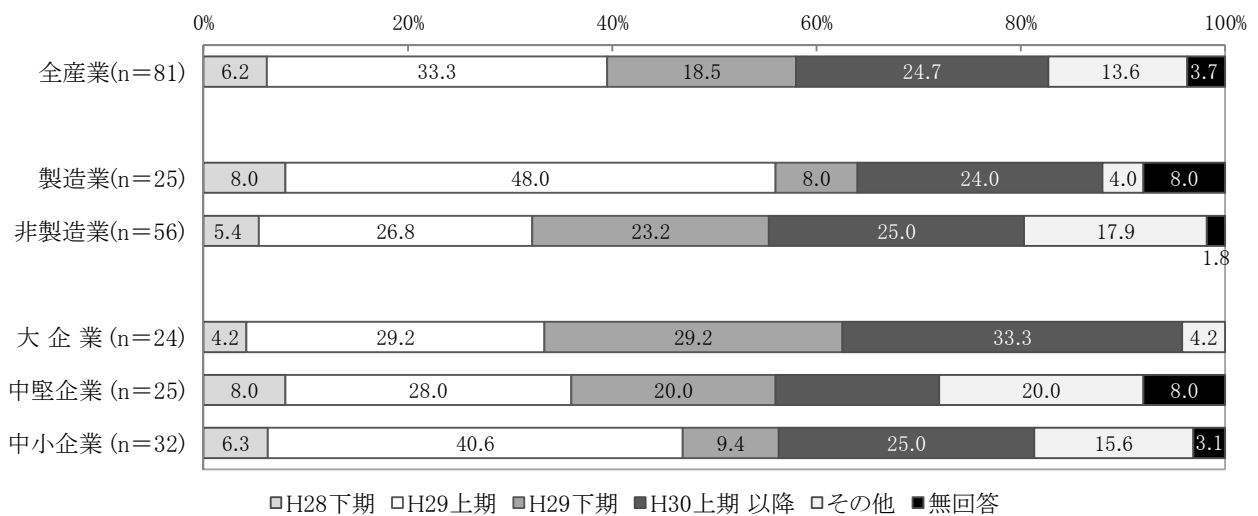
- ・オリンピック
- ・新幹線開業効果の維持
- ・新幹線
- ・雇用が引続き好調
- ・北陸新幹線の継続的效果
- ・観光客の安定した流入

## Q.5

Q.3で「底這い」「下降」と回答された方へ

北陸地域の景気が今後回復に転じると予想される時期はいつ頃と思われますか。

## 景気が回復に転じる時期



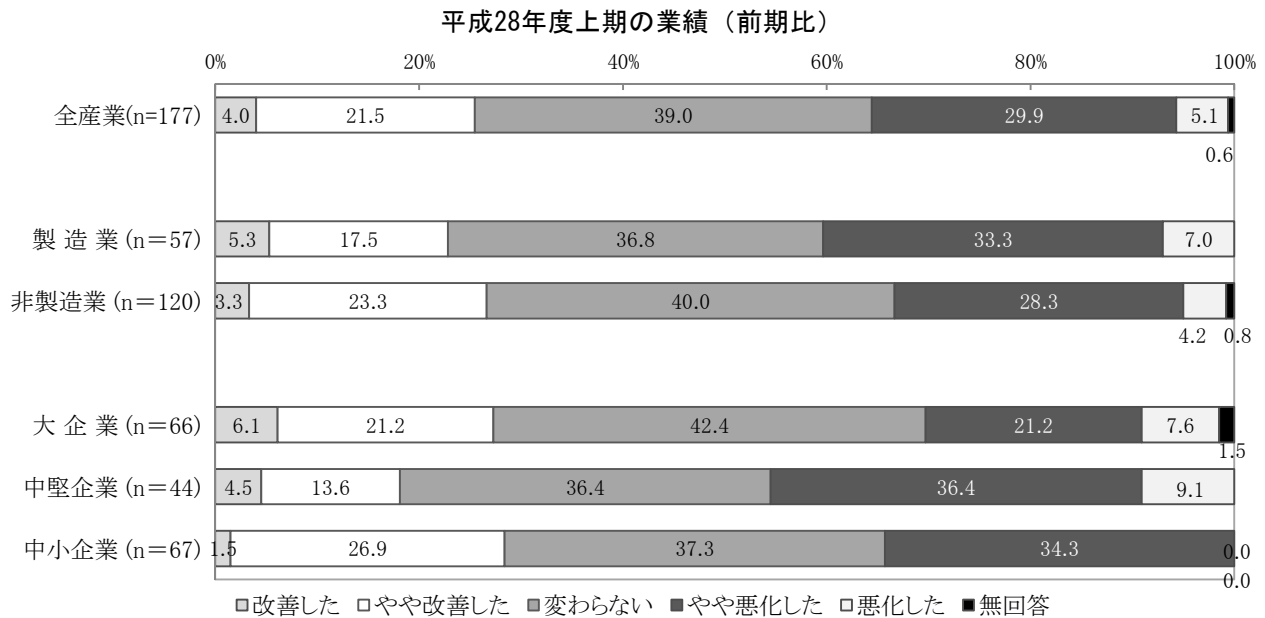
◎その他の具体的な回答

- ・世界経済の動向次第
- ・先行き不透明で時期は見通せない

## II 業績

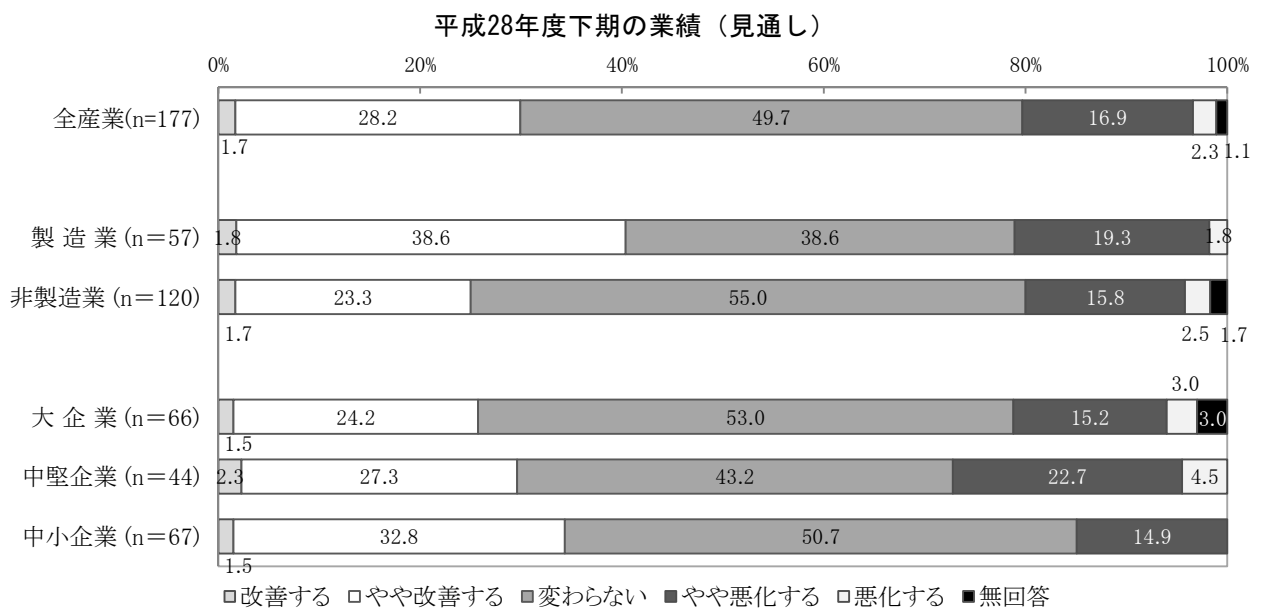
### Q.1

貴社の平成28年度上期(4月～9月)の業績は、平成27年度下期(10月～3月)に比べてどのように変化しましたか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



### Q.2

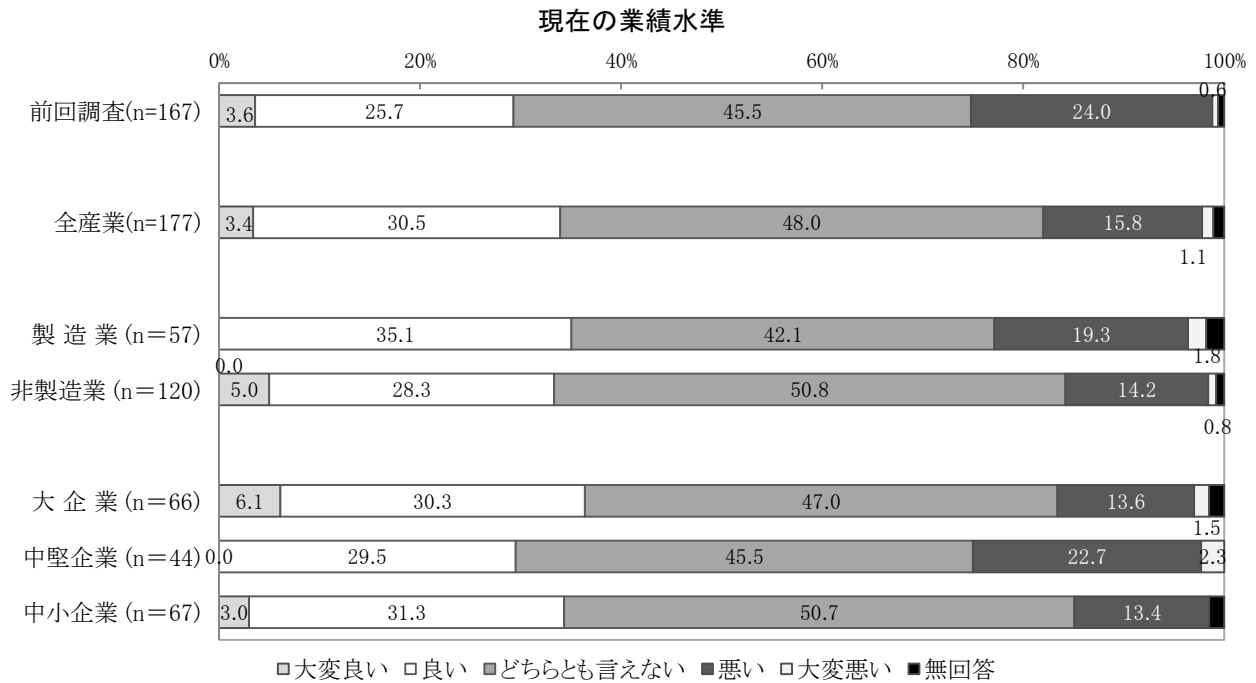
貴社の平成28年度下期(10月～3月)の業績は、平成28年度上期(4月～9月)に比べてどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



## II 業績

### Q.3

現在の貴社の業績水準についてどう思われますか。



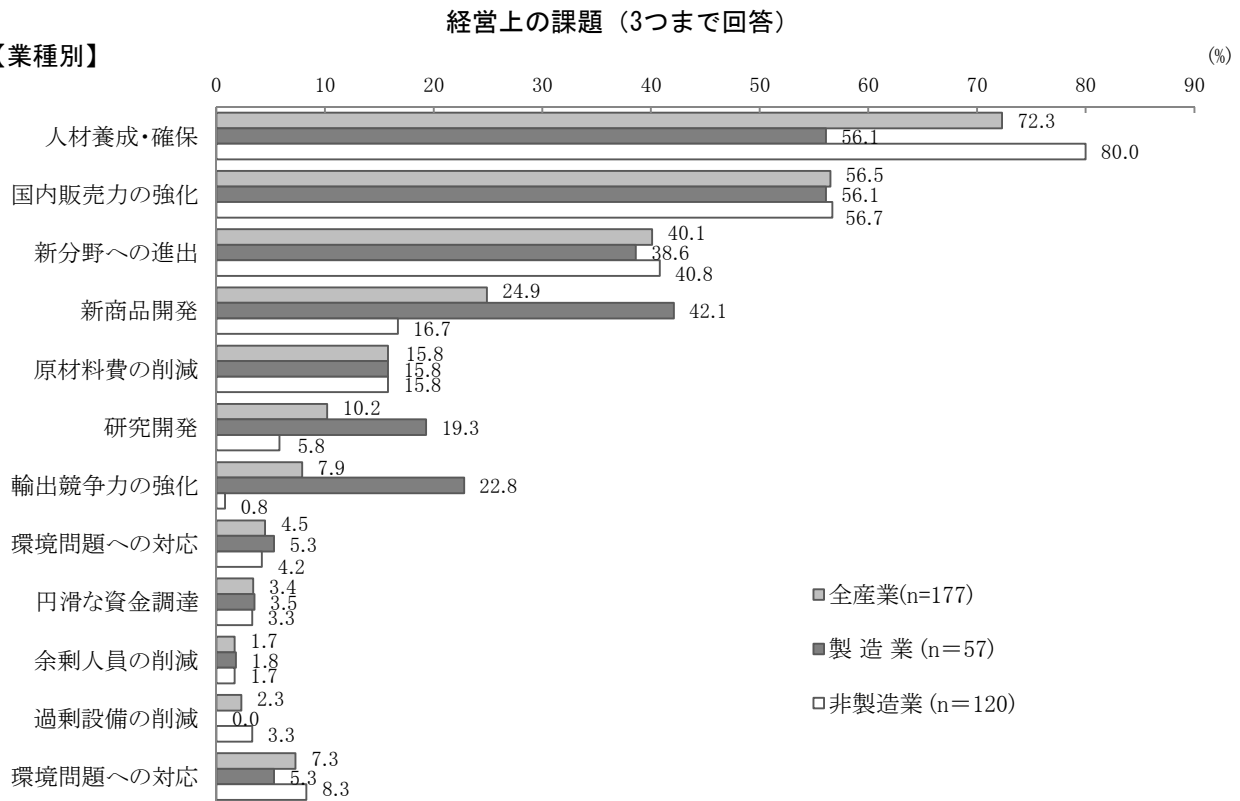


## II 業績

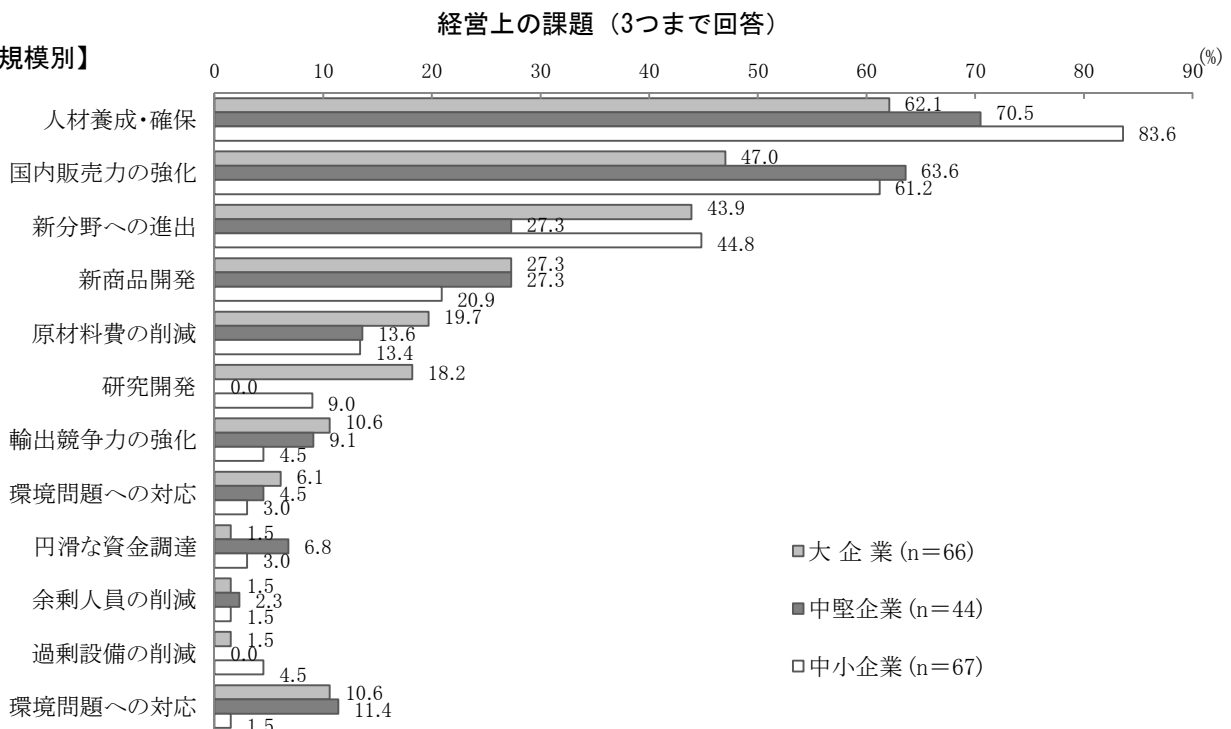
### Q.4

貴社にとっての経営上の課題は、どのような点でしょうか。(3つまで回答可)

#### 【業種別】



#### 【規模別】



◎その他の具体的な回答

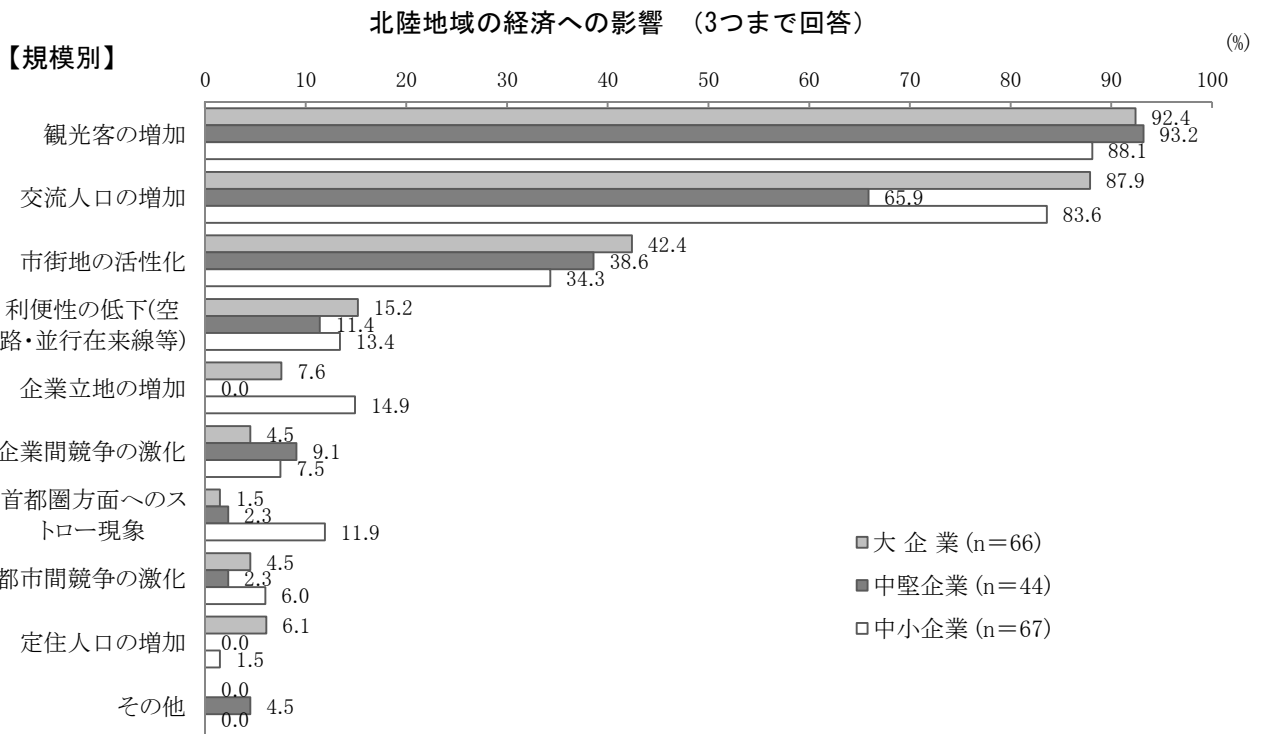
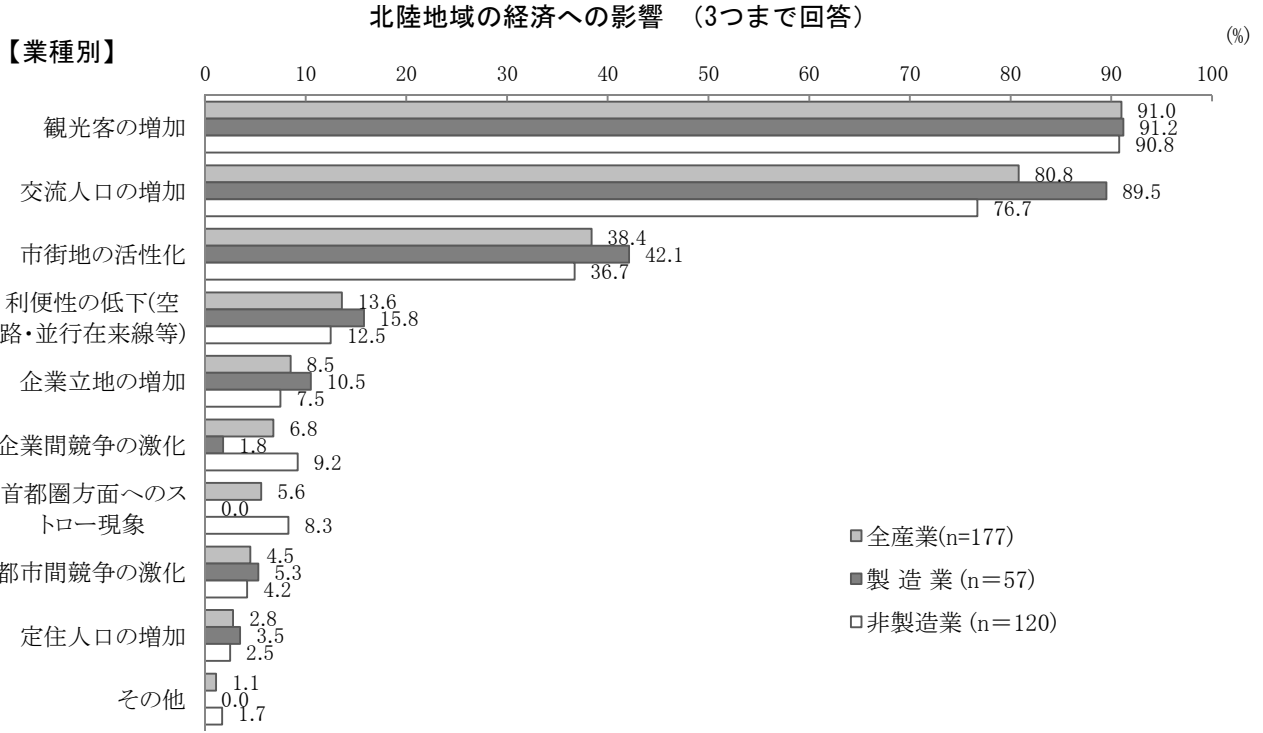
- ・技術者不足
- ・変化への迅速な対応
- ・アジアの経済減速
- ・収支バランス改善
- ・工場移転
- ・原材料費の高騰
- ・営業力の強化
- ・中国の生産過剰
- ・高齢化、人口減少

### III その他

1. 北陸新幹線の金沢開業後1年半が経ち、開業による影響についてお聞きします。

#### Q.1

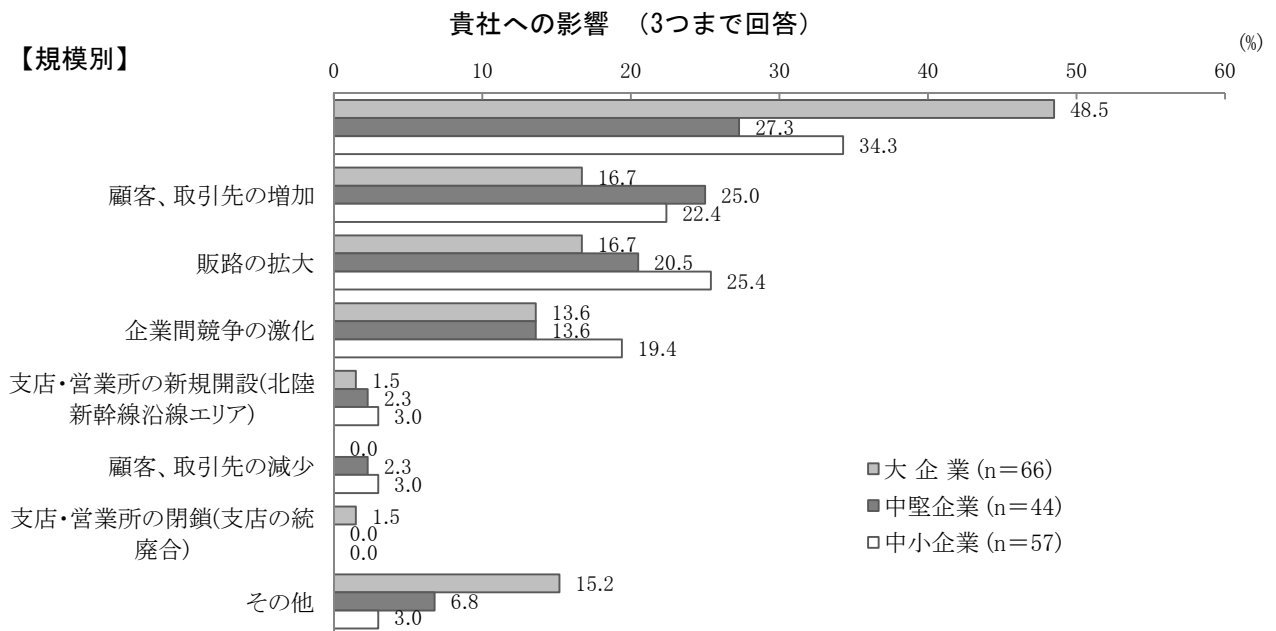
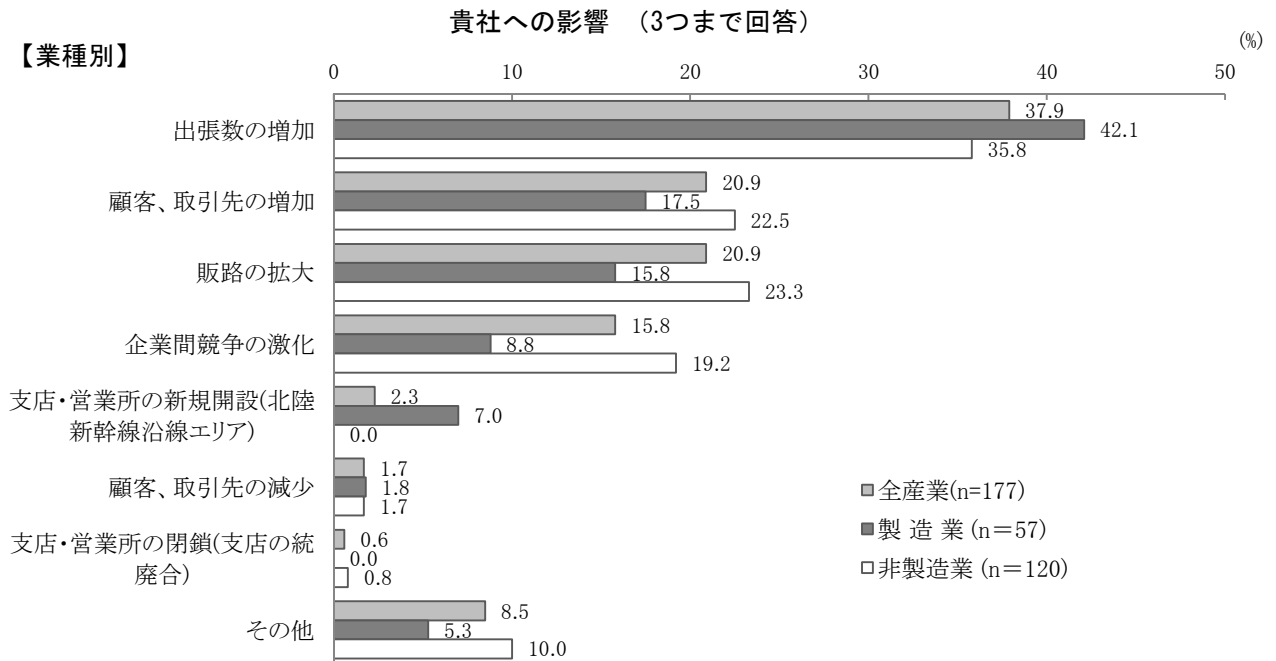
北陸地域の経済にとってどのような変化(影響)があったと思いますか。(3つまで回答可)



### III その他

#### Q.2

貴社にとってどのような変化(影響)があったと思いますか。(3つまで回答可)



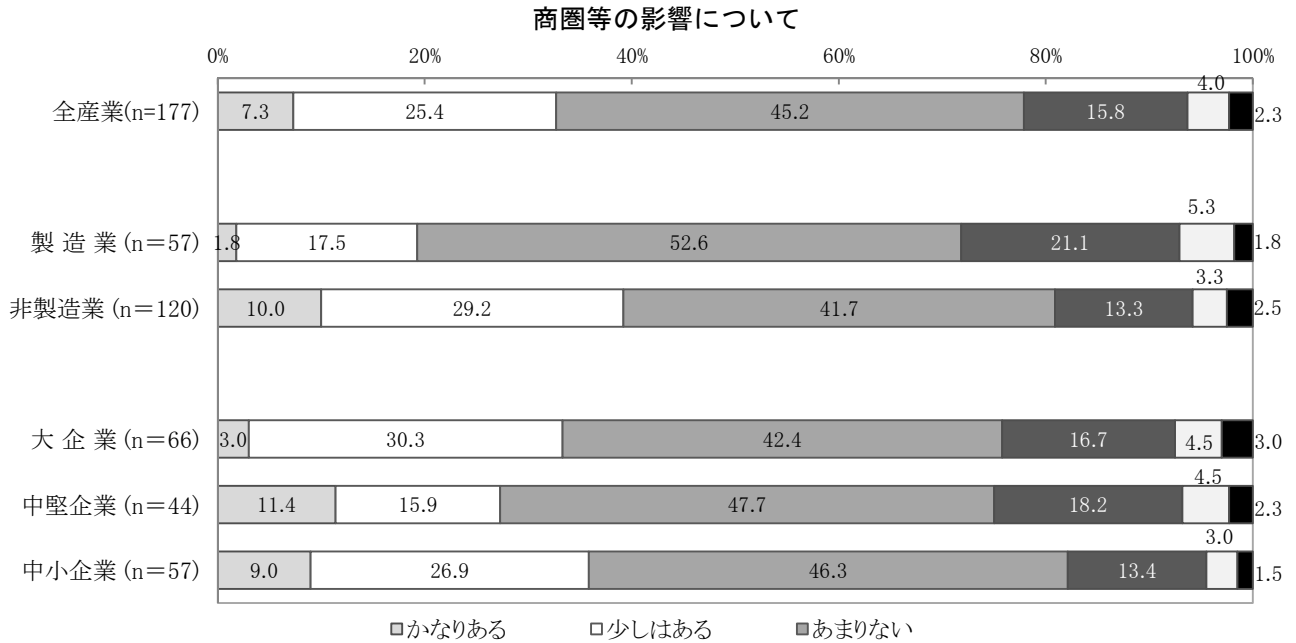
◎その他の具体的な回答

- ・移動方法の選択肢の増加
- ・本社所在地(首都圏)からの利便性向上
- ・個人客が増加した
- ・駅前の活性化に伴う建築資材受注あり
- ・航空機利用の減少
- ・新幹線開業にあわせてFREEwi-fiサービスをスタート
- ・管理部門部署が新潟から埼玉へ
- ・会議を東京で開催。各地からのアクセスが良くなった為
- ・特定部門の一時的売上増加
- ・観光客の増加

### III その他

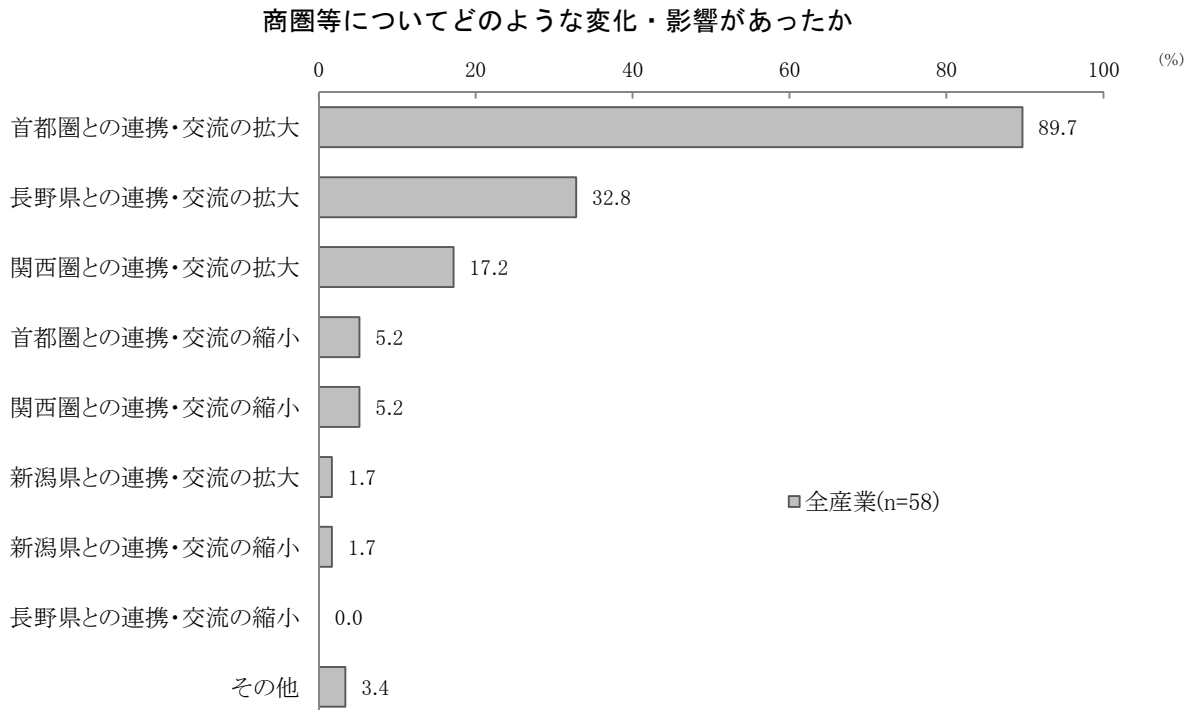
#### Q.3

貴社における商圈等の影響についてお聞きします。



#### Q.4

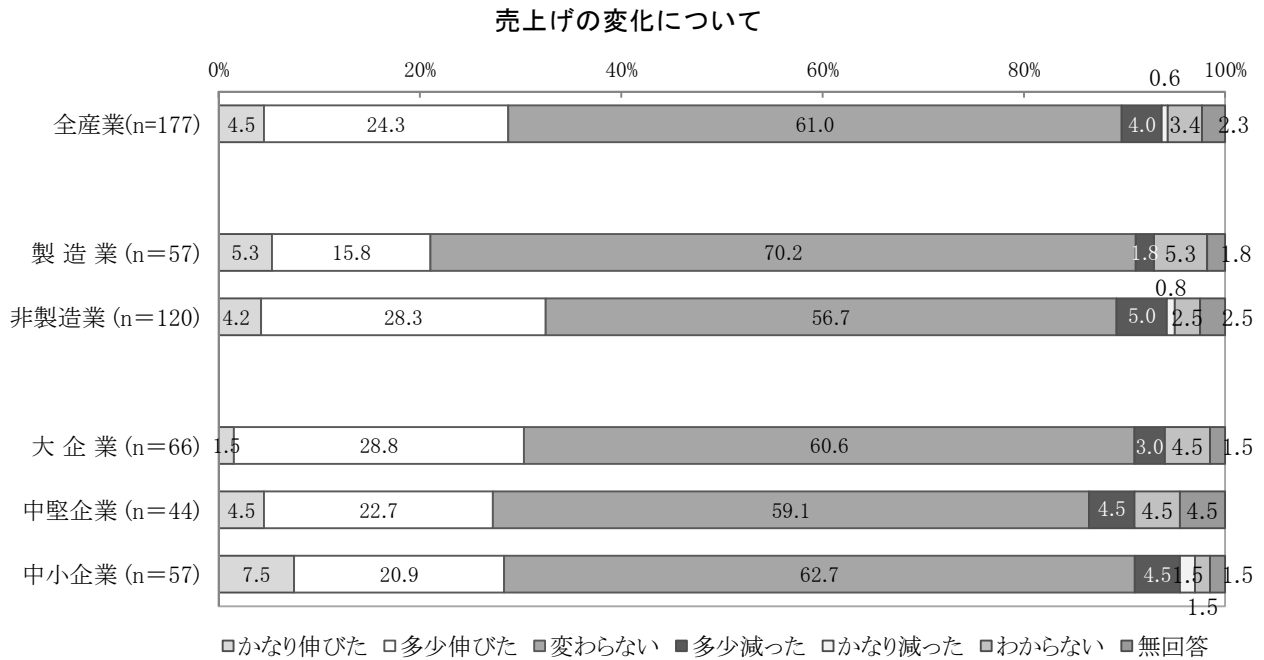
Q.3で「かなりある」「少しはある」と回答された方へ  
どのような変化・影響がありましたか。(3つまで回答可)



### III その他

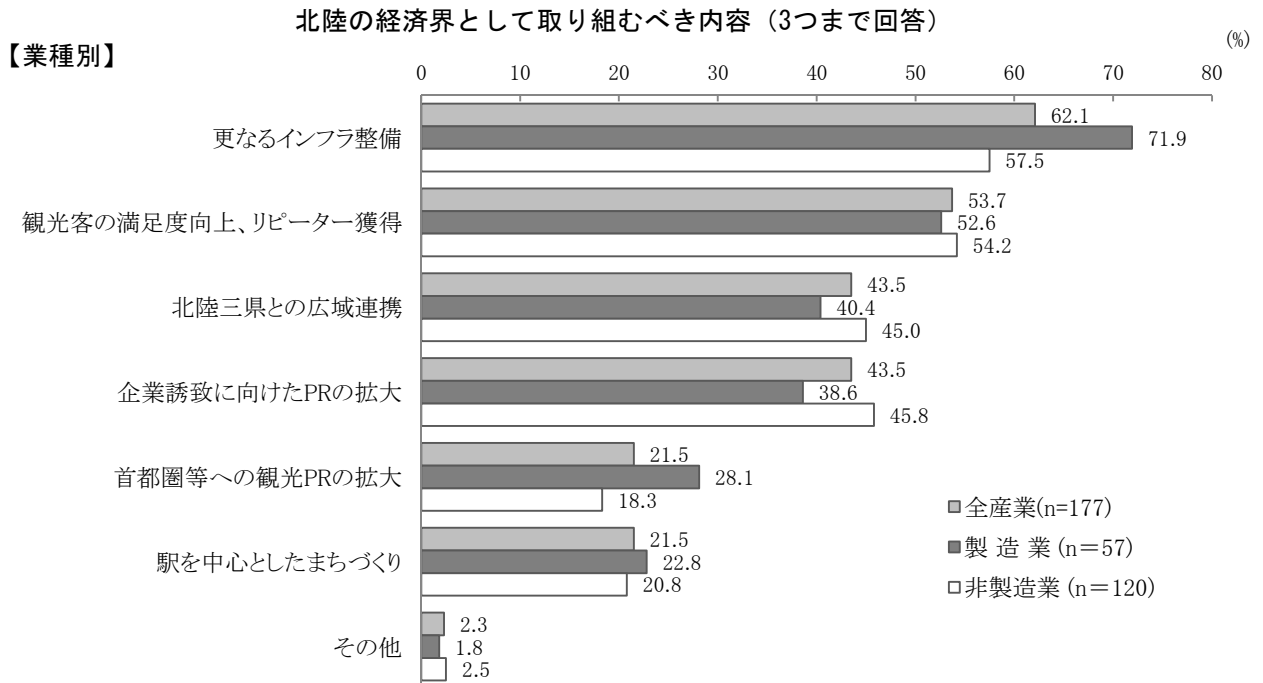
#### Q.5

貴社における売上げの変化についてお聞きします。



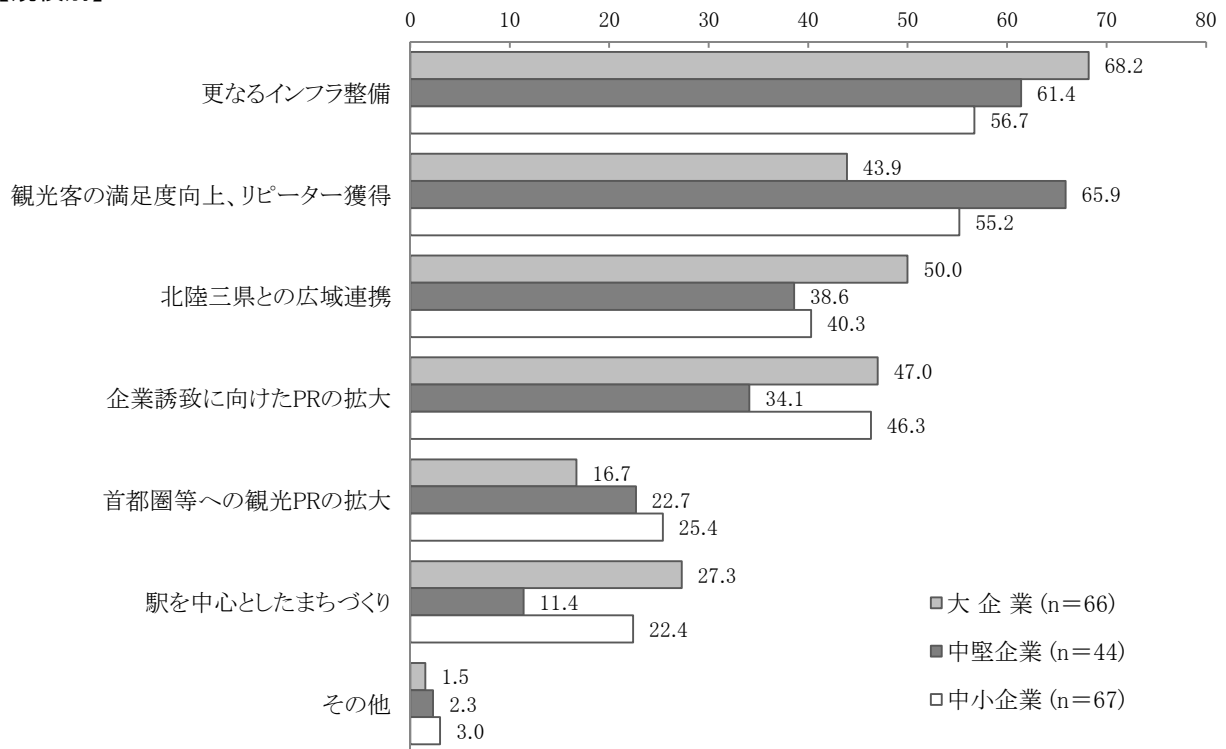
#### Q.6

金沢開業後1年半となるなか、北陸の経済界として取り組むべき内容は何ですか。  
(3つまで回答可)



### III その他

#### Q. 6 北陸の経済界として取り組むべき内容（3つまで回答） 【規模別】



◎その他の具体的な回答

- ・石川－新潟間の利便性を向上して頂きたい
- ・首都圏からの移住に向けたPRの拡大
- ・関西方面への利便性向上

#### Q. 7

その他、北陸新幹線へのご意見をお聞かせ下さい。

【全線整備】

- ・敦賀以西の延伸ルートを早期に確定させるべき 同様意見1件
- ・関西までの早期延伸 同様意見4件

【その他】

- ・石川県のホテル代が高いと評判のため対策すべきと思われます
- ・依然として、富山駅南北をつなぐ通路・道路の利便性が悪すぎる
- ・全日空が減便になった。空・鉄道の相乗効果とはならなかった
- ・金沢以西の早期延伸に向け積極的に動くべきと思う
- ・「かがやき」の時間帯を拡大 走行本数を増加させて欲しい
- ・駅周辺部及び一部観光地とその他の地域の経済格差拡大
- ・効果を持続させる取組が必要
- ・トンネル内の通信不通を早期改善すべき

### III その他

#### 2. 女性の活躍推進についてお聞きします。

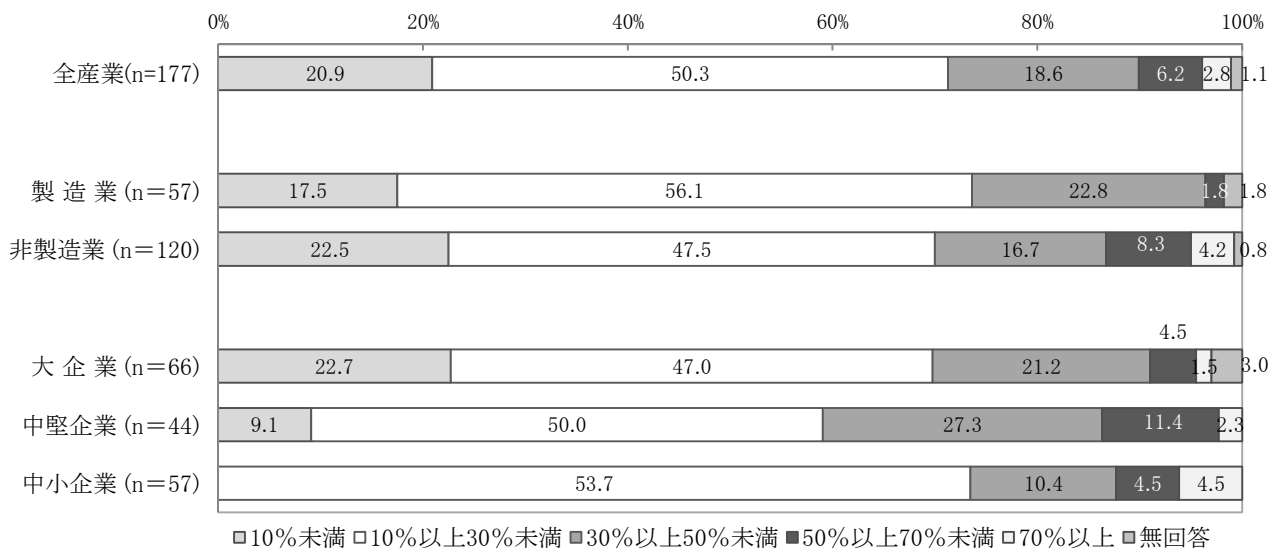
##### Q.1

全従業員数を教えてください。

規模	回収数	割合
50人未満	30	16.9%
50人以上100人未満	20	11.3%
100人以上500人未満	65	36.7%
500人以上1000人未満	18	10.2%
1000人以上	43	24.3%
無回答	1	0.6%

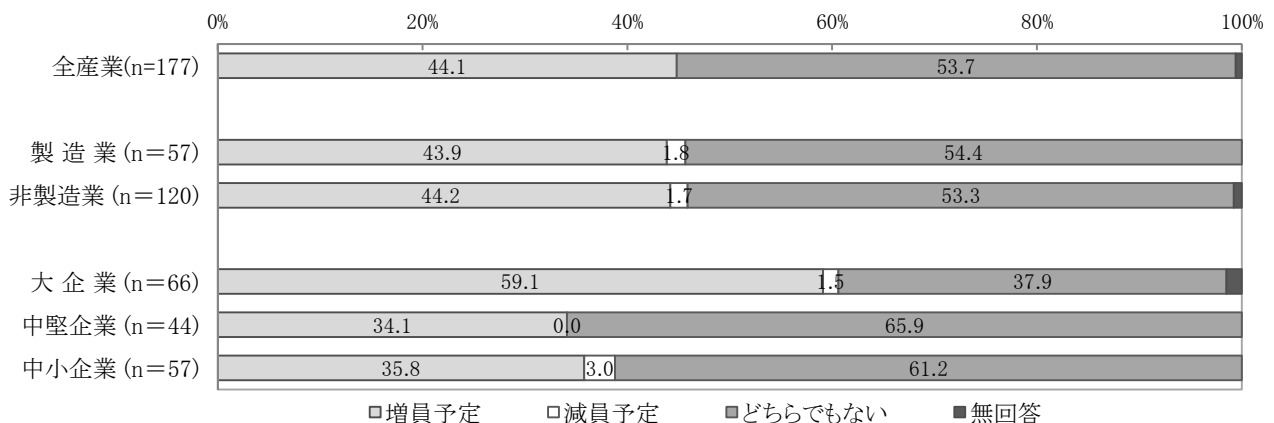
##### Q.2

女性の従業員比率を教えてください。



##### Q.3

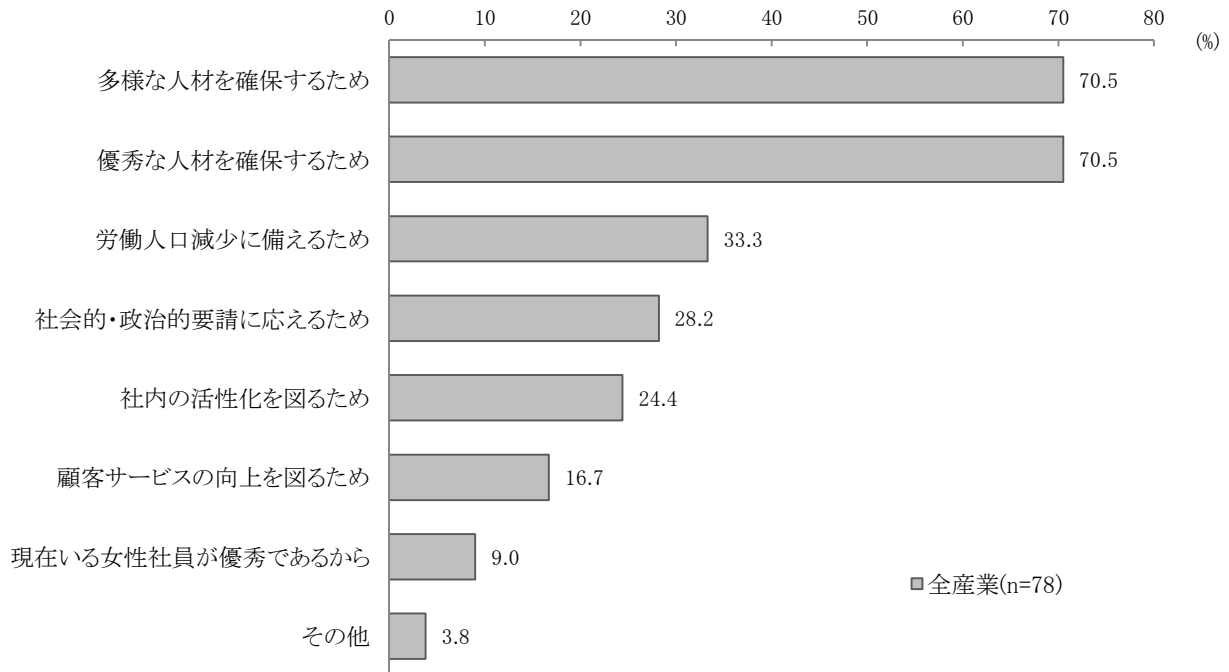
今後の女性採用計画について教えてください。



### III その他

#### Q.4

Q.3で「増加する」と回答された方へ  
増員予定の理由を教えてください。(3つまで回答可)

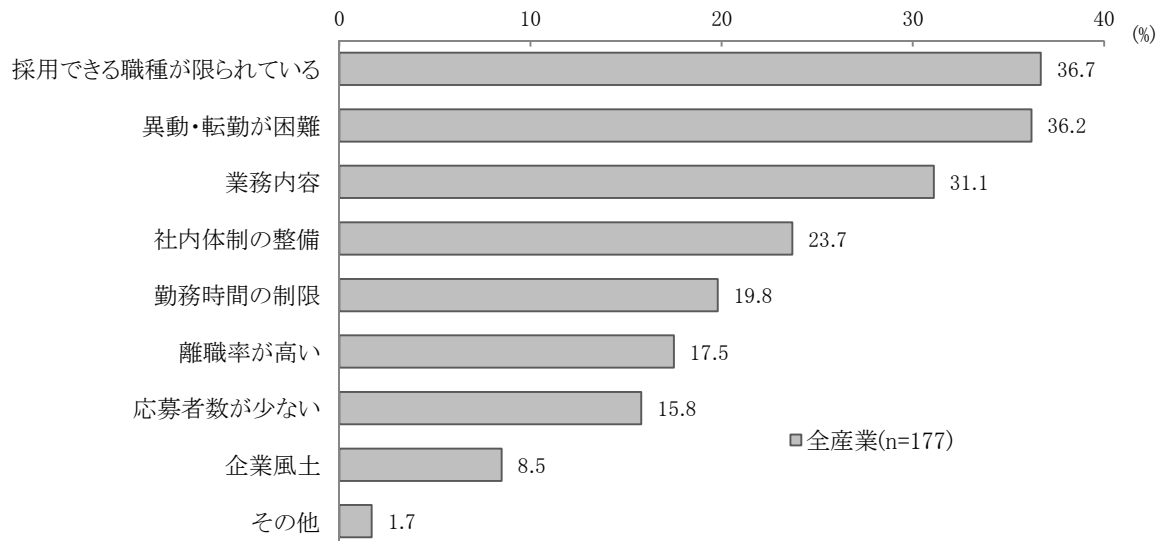


◎その他の具体的な回答

- ・女性管理職の設置
- ・男女に関係なく優秀な方を採用する方針
- ・補充の為

#### Q.5

女性採用について課題と感ずることは何ですか。(3つまで回答可)

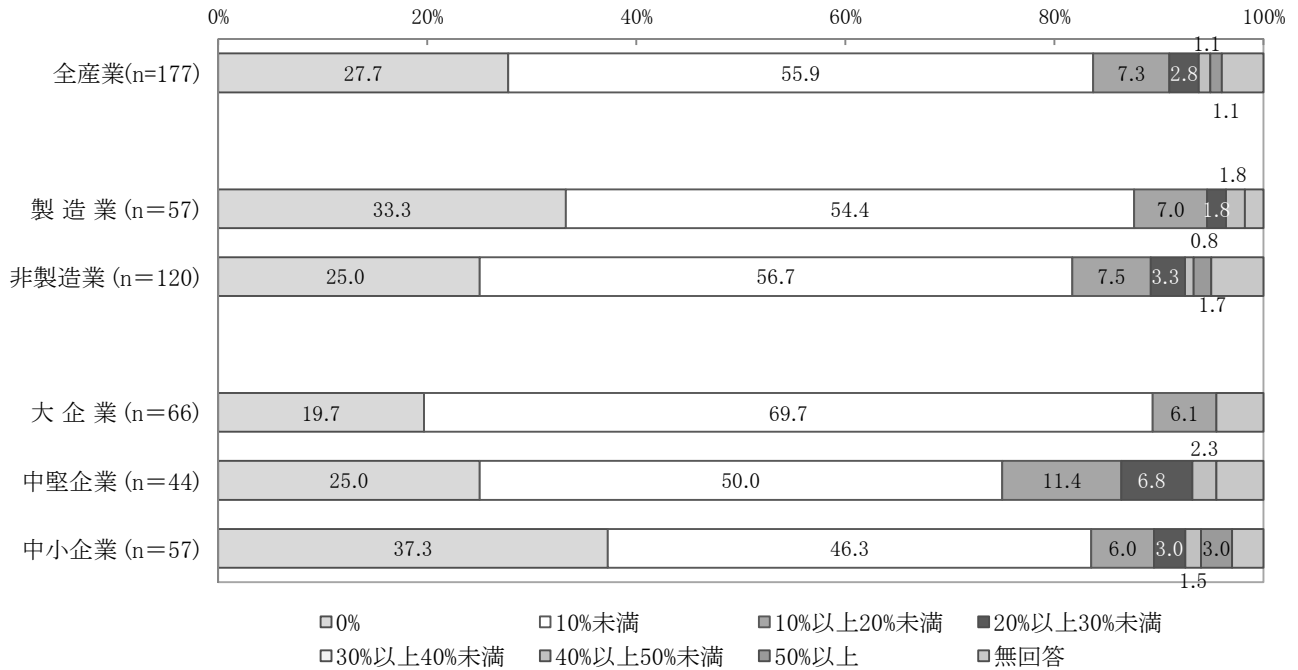




### III その他

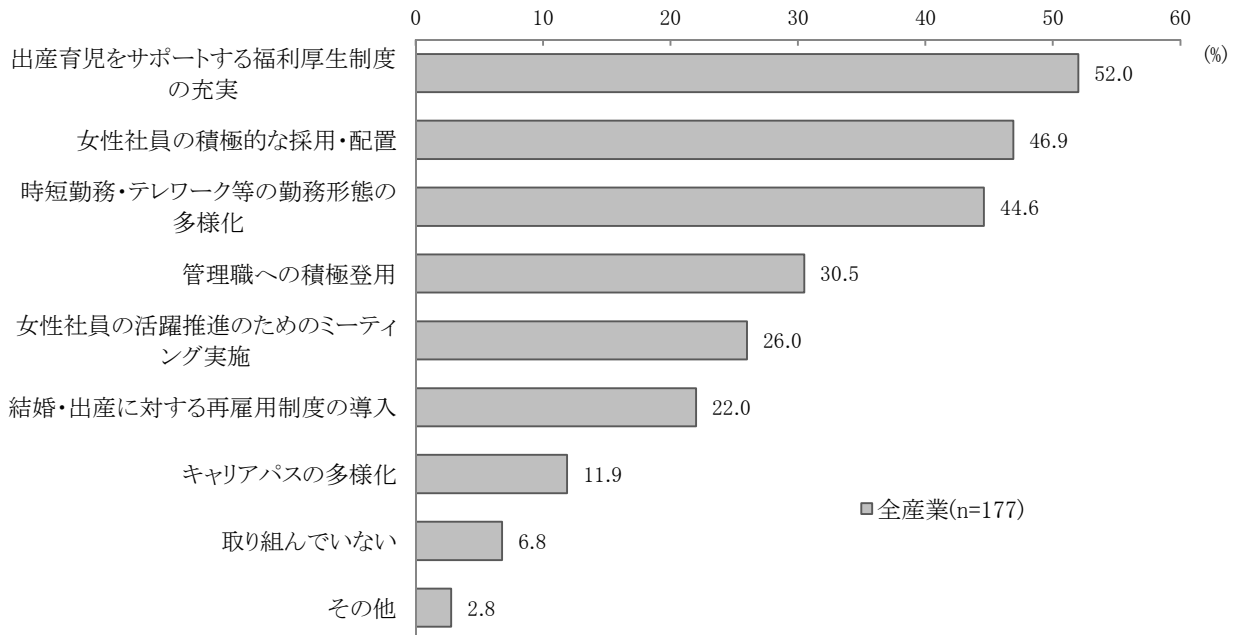
#### Q.6

女性管理職の登用状況について教えてください。



#### Q.7

女性活躍推進について、貴社での取り組み内容を教えてください。（複数回答可）

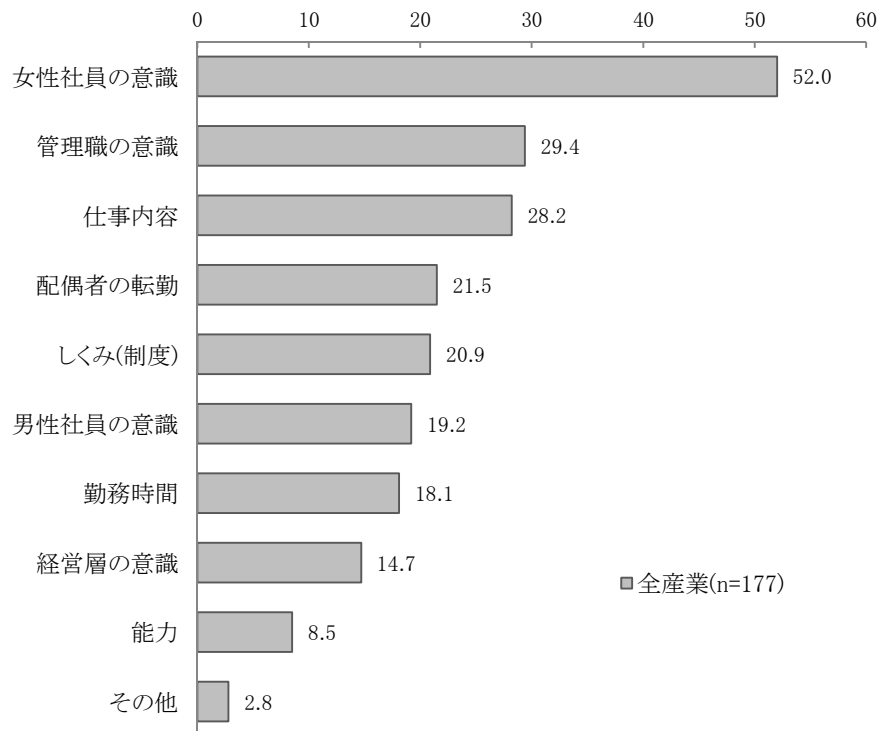


◎その他の具体的な回答

- ・ 残業時間の削減
- ・ 男女区分なく成果評価
- ・ フルタイムへの登用
- ・ 女性社員の新たな職域の確保
- ・ 女性セミナー等への参加を促す
- ・ 出産の奨励を経済面でサポートしている

Q.8

女性社員の活躍について課題と感ずることは何ですか。(3つまで回答可)



◎その他の具体的な回答

- ・家族の理解及びサポート
- ・能力が同等であれば男女にこだわらない
- ・女性でも年代によって考え方が異なるため調整が難しい場合がある
- ・人事運用(配偶者含む)
- ・真の男女平等・公平評価

### Q.9

女性の活躍推進について、その他ご意見(今後、取り組もうとしている内容等)をお聞かせ下さい。

#### 【採用・登用について】

- ・女性の積極的な採用 女性一般職から総合職への転換
- ・監督職への昇進を進める
- ・管理職への登用
- ・総労働人口が減少して行くので、管理職への登用が必要であり、課題を解決してゆかねばならない
- ・管理職登用に向けて取組みを継続することが重要
- ・女性総合職の採用を増やしているが、技術職での応募が少ない
- ・女性管理者を増加させる
- ・理系女子の採用
- ・多様な人材確保のため、女性の採用を積極的に考えています
- ・将来を担う技術者としての登用及び新規採用を推進
- ・女性の新規採用を増やしていく

#### 【育成について】

- ・女性社員へのキャリア研修、管理職対象の働き方を見直す研修など
- ・育成、人事運用、風土づくり
- ・キャリア情報他社交流会を実施予定
- ・交流会開催、研修の実施
- ・女性リーダーの育成
- ・新大卒女性営業職の育成

#### 【制度・しくみ・環境整備について】

- ・社内託児所 在宅勤務
- ・常に女性が活躍出来る職場作りに努める
- ・対応をどうするか？産休中での仕事のやりくりが大変である
- ・現在時短勤務制度が無いが、今後は設けても良いかと思う
- ・制度の変更など
- ・女性エンジニアとして活躍できる場と雰囲気づくり
- ・特に男性の残業を減らし、かつ業務のマニュアルを整備し、職務に対する男女のフラット感を出す

#### 【その他】

- ・男女ともに平等である観点で取り組みを行う
- ・夫の転勤と妻の転勤の場合夫の転勤を優先されてしまうという実態があり、将来的にこれを改善できないかと思えます
- ・女性の活力を使わないとゆくゆく労働力が確保できなくなることの認識が必要
- ・何かと難しい問題が多い
- ・次世代育児支援対策法女性活躍推進法に基づく対応策を推進予定
- ・女性を含めたダイバーシティ経営に取り組む
- ・ダイバーシティ推進
- ・中小企業では配置転換が難しい
- ・男性、女性を問わない仕組みを創り上げる
- ・建設業は現場が固定化されておらず、皆で一斉に物づくりを行う様態なので全ての労働環境を補完しづらい。労使が柔軟に対話せざるを得ないことを理解して欲しい
- ・一律の推進には疑問
- ・女性の活躍推進については、まず女性の採用に積極的に取り組んでいます。女性の採用人数・役職者数は年々増加しており、特に採用面では、大卒事務系の採用人員の約3割が女性となっています。2012年には、「女性事務職のための働き方フォーラム」を開催、約200名が参加し、社外講師による講演やグループに分かれてのディスカッションを行いました。また、社外に参考となる先輩を見つけたり、参加者同士でライブイベントと仕事を両立する知恵を共有してたりして、女性同士が切磋琢磨しながらより活躍していくことを目指した「4U (For You) ネットワーク」と題した活動も行っています。2013、2014年には4U (For You) ネットワークが企画した「キャリアデザインとコミュニケーション研修」を女性とその上司を対象に実施しました。

### Q. 10

女性部会では「ひとり親家庭の北陸移住推進」に向けた取組みを進めているところです。ひとり親の雇用に対し、課題や問題点、行政への要望事項等を教えて下さい。

#### 【育児関係】

- ・ 子供をフォローできる行政の仕組が最大の課題
- ・ 子供の病気など緊急時の社内でのフォロー体制
- ・ 育児教育施設の充実
- ・ 学童保育の時間延長
- ・ 夜間、休日、病児保育、学童等、子供を安心して預けて働ける環境
- ・ 育児と責任ある仕事との両立がむずかしく、どうしても低所得の仕事しかできない。（パートなど）
- ・ 子供を安心して預けられる場所の充実
- ・ 保育所の充実
- ・ 子育て問題
- ・ 子どものケア・フォロー・預かり体制・受入枠などを整えることを行政側に要望します
- ・ 親が働いている時に子の面倒をみてくれるしくみ・体制
- ・ 子供が病気になった時に保育園は預かってくれない。こういったことをサポートしてもらえるしくみがあればと

#### 【行政支援】

- ・ 業種を選び、支援制度を拡充する
- ・ 積極的な行政の支援
- ・ 公的支援制度のより一層の充実が図れることを期待します
- ・ 補助金の新設・活用
- ・ 県や市で移住者に対して相談窓口（一ヶ所で）手続きがスムーズに出来る様をお願いします
- ・ 企業の保育環境の整備に対して行政の支援が必要

#### 【しくみ・環境整備】

- ・ 労働時間と待遇面
- ・ 自宅や通勤車両が必要となるなど、本人や企業の負担を抑える仕組みが必要
- ・ 安否確認システムの構築を要望します
- ・ 勤務時間・場所等柔軟に対応する必要がある
- ・ 勤務時間の制限
- ・ 福井県は「育児」「子育て」「教育」に関し他都道府県よりも優れており、その背景をもとに推進していくが、自身のキャリア・価値観の違いを受け入れる環境整備が必要

#### 【その他】

- ・ 人物次第
- ・ 該当者が見て、聞いて、その気になるような本気モードの広報活動を実行してほしい

当会では、当会会員の女性経営者による女性部会をH26年6月に設立し、女性ならではの観点からの意見をとりいれながら、女性活躍に向けた活動を行っています。具体的には、当会の重要活動である政府要望における要望事項の検討・取りまとめ、部会役員による直接要望活動の他、講師を招いての女性活躍推進に向けた意見交換等、積極的に会合を重ねてきております。

今年度は、今後の更なる人口減少、働き手不足等を見据え、女性部会として「ひとり親家庭の北陸移住推進」を提言しております。

生活環境が整っており幸福度が高い北陸へ、ひとり親家庭の皆さんにも移住してもらい、能力を発揮していただくことで、企業の働き手不足緩和、女性活躍機会の拡大、子どもの貧困解消といった様々な効果を生むと考えています。

会員の皆様には是非とも積極的なご理解とご協力をよろしくお願いいたします。  
「ひとり親家庭の北陸移住推進」について別添資料も併せご覧いただければ幸いです。





はじめよう、北陸サクセス。

平成28年12月13日発行

## 北陸経済連合会

*HOKURIKU ECONOMIC FEDERATION*

〒920-0981 金沢市片町2-2-15 北国ビルディング4階

TEL : 076-232-0472 FAX : 076-262-8127

e-mail [info@hokkeiren.gr.jp](mailto:info@hokkeiren.gr.jp)

URL <http://www.hokkeiren.gr.jp>

北陸物語 facebook

<https://www.facebook.com/hokuriku.monogatari>